



日本女医学会誌

復刊第 181 号
2005 年 1 月 25 日発行
題字 吉岡彌生

巻頭言

大きな名前にふさわしい、立派な会に

副会長 石原幸子

あけましておめでとうございます。

会員の皆様にはお健やかに新年をお迎えのことと存じます。昨年の第 26 回国際女医会議も無事終了し、多くの方々のご協力により成功裡に終ることができました。厚く御礼申し上げます。

その直後、日本はかつてない大型台風に襲われ、

続いてマグニチュード 7 ともいわれる、関東大地震をものぐ大地震が新潟県を直撃し、その被災の様子がテレビに刻明に報道され、天災の恐ろしさを痛感致しました。被災地の皆様に心から御見舞申し上げる次第です。最も被害の大きい川口町、山古志村の住み慣れた我が家が、家畜が、畑が、一日ごとに沈み、村一面が水に被われた光景は見えても胸のつまる思いがいたしましたが、御当地の方々との心境は如何ばかりかとお察しいたします。

2 週間後でしたか、村民の方々がヘリコプターに乗りわずかの荷物を取りに、変わり果てた村に行き

日本女医会誌 (第181号) もくじ

巻頭言

大きな名前にふさわしい、立派な会に … 石原幸子 /1

年頭所感

新しい年を迎えて … 中山年子 /2
若い力の活躍に期待 … 加藤光子 /2
目標、新入会員 10 名 !! … 山口いづみ /2
争いのない社会を … 赤塚智香 /3
あらためて仕切り直しの年 … 柿島八千代 /3
女医会に期待! … 千葉奈緒子 /3
国民のための医療を … 道永麻里 /3
希望のもてる一年に … 斉藤文子 /4
28 年前を思い出して … 尾中妙子 /4
諸先輩の偉業に学ぶ … 堀口 文 /4
女医の適性が重要に … 後町暁子 /4
私たちが解決 … 村田洋子 /4
自己研鑽の年 … 渡辺弘美 /5
女医のための風見鶏に … 野々田宣子 /5
一層の社会へのアピールと地位向上に向けて … 大塚貞子 /5

特集・第49回 日本女医会定時総会 ……6

100 年の歴史のさらなる発展のために … 橋本葉子 /6
社団法人日本女医会定時総会議事録 ……8
第 24 回日本女医会学術研究助成を授与されて
神経細胞脱落のメカニズム解明に向けて 竹宮孝子 /9
声帯内自家脂肪注入術に対する再生医療の応用に關する基礎研究 …… 田村悦代 /9
女性医師の勤務環境と現況における国際比較検討 …… 矢口有乃 /10

第 49 回日本女医会総会を開催して

感謝、感激、安堵、そして自信、団結へ …… 前田慶子 /10
青森なりの誠意を込めて …… 黒田迪子 /12
全員で跳ねた夜 …… 羽田知子 /12

観光ツアーに参加して

青森といえば、「ねぶた」 …… 木戸愛子 /13
古き良き時代に思いを馳せる …… 山崎トヨ /14
遊ばば十和田、歩きや奥入瀬 …… 村上れふ子 /16
人と自然の関わりを学んで …… 深井登起子 /16
第 50 回総会記念ワークショップのご案内 …… 15
総会講演会
女性のための皮膚科学講座—光老化最前線— ……
…… 花田勝美 /17
社団法人日本女医会定時評議員会議事録 …… 18

第 23 回日本女医会学術助成報告

肝臓への気泡の取り込みを利用した類洞イメージングの基礎的・臨床的検討 …… 飯島尋子 /19
研究課題「生体部分肝移植患者における周術期栄養学的評価に関する研究」 …… 荻田桂子 /19

活動報告

〈第 59 回国連総会に出席して〉国際社会で働く意味を考えながら …… 平敷淳子 /21
〈カンボジアの寒村に小さな学校を贈る〉貧困を見た者の努めとして …… 角田由美子 /21

私の大学／秋田大学

「通り過ぎる人」から半世紀余 …… 榎 真美子 /23

支部便り／京都支部

新しい非日常の試みを …… 石川知子 /23

書評・『医師ヘボンとその時代』 …… 山本蒔子 /24

新潟県中越地震災害義援金とボランティア基金について …… 森川由紀子 /25

新潟中越地震義援金寄付者一覧 …… 25

理事会議事録 …… 27

会員動静 …… 32

編集後記 …… 32

ました。私は大切なものは何かしらとじっと見ておりましたら、多くの方が先祖の位牌、アルバム、写真など、家族の歴史をかかえて帰ってこられたのを見て、何と素朴で、美しい心をもった方々だろうと感激いたしました。もう一度村に帰って住みたいといっていた人々にぜひ夢を叶えてあげたいと思いました。

一方、外国では先の見えない戦争にあけくれ、どちらにも正論のあるこの戦いは歴史のなかで如何に評価されるのでしょうか。逃げまどう子どもたち、けがをしている子どもたちを見るたびに、私ども小児科医、女医たちは、何かしなければの思いにかられ、何一つできない無念さに胸が痛みます。国際女医会のもう一步踏み込んだ対応が必要ではないかと考える次第です。

こうして考えてみますと、2004 年は何とも忙しく、慌しく、危険な年でありました。2005 年こそは、皆様にとりましても、世界の人々にとりましてもよい年でありますようにと祈らずにはられません。

本年も日本女医会発展のために、会員諸姉の御協力、御支援を重ねてお願いする次第です。

不肖私も 4 分の 1 世紀を女医会とともに歩んで参りました。当に長老であります。入会当時、久保田先生より「おい、そこのお若いの」といわれた時代がなつかしくなります。

日本女医会も年々メンバーが少くなり、当初の先輩方の意気込みは失われてしまいました。今年こそ、多くの反者と御後援をいただきながら、日本女医会という大きな名前にふさわしい立派な会に発展したいと思っております。役員はもとより、全会員の皆様も「日本女医会」としての自覚をしっかりともち、新たな一步を踏み出していただきたいと念願しております。来年は選挙の年になります。必ず出席できる方、日本女医会としてのプライドと責任をもつ方々の立候補をお願いいたします。先輩が苦勞して築いた世界に一つの日本女医会のために力をお借し下さいますよう、重ねてお願いする次第です。

2005 年



年頭所感

新しい年を迎えて

東京都連合会会長 中山年子

新年のお慶びを申し上げます。

昨年国際女医会議も好評裡に終わりました。ほっと安心したのも束の間、中越地震が起きて心臓が痛む日々でした。余震の恐怖で車の中しか安心して寝ることが出来ないと訴える子供の姿に天災は土地、家屋ばかりでなく精神的にも大きな禍を残すものだとは知ると同時に、医師として何も出来ないもどかしさも感じます。医療を取り巻く情勢は誠に厳しくなりました。日々命がけで診療をしている医師に対して理不尽な圧力が掛からぬように日本女医会も結束するべきです。会員を勧誘する時に「どんなメリットがありますか」と聞かれて答えに窮する事のない有意義な集まりでありたいと思います。「数は力なり」です。何卒宜しくお願い申し上げます。

若い力の活躍に期待

荒川 加藤光子

新年の御祝詞を申し上げます。

昨年は多くの自然災害に見舞われた日本でしたが、本年はこの美しい国土が静かに美しく保たれますことを、心より祈ります。

さて、昨年の日本女医会の活躍は目覚ましいものでした。国際女医会議開催国としての責務を果たし、成就させることができました。開催にあたり、ご尽力いただいた諸先生方に心より感謝し、敬意を表したいと思います。また、国際女医会々長に平敷先生が就任されたことも、世界に誇れる重大なニュースとなりました。今後は、女医として私どもの立場を、医師全体にもっと理解していただくために、会員の増加をはかり、積極的に政界にも働きかける必要があると考えます。若い先生方の入会と活躍を期待しております。2005 年、日本女医会がさらに若返り、一段も二段も飛躍することを祈っております。

目標、新入会員 10 名 !!

葛飾 山口いづみ

『日本女医会 葛飾支部入会のお勧め — 花菖蒲の美しい、水郷の葛飾区の季節到来です。新しく葛

飾区医師会にご入会になった女性医師も多数になられたそうです。どうぞこの機会に、各界の女性たちの健康と幸せの推進役を旗印にしている日本女医会にご入会下さい。ご自分の事で手一杯の女性医師たちですが、少しでも時間的、経済的な自立が可能になった方は、後輩女性医師と日本の女性の健康維持に役立つように活動を開始いたしましょう。今期の日本女医会の仕事の一部である「十代の性と健康」をお送りさせていただきます、日常診察の場でどうぞ活用下さい。先生方がいつまでも女性たちの良きアドバイザーであられますように。』

上記の文章を書いて2年がたちました。個人的勧誘の電話も何十本と致しましたが、相変わらず反応がありません。「70歳を過ぎたら入会します」と言われて唖然としました。女性はその年齢まで忙しいとの意味でしょうか、残念です。

本年の抱負は「新入会員の増加10名」で、そのために葛飾医師会理事を引き受けました。昨年は区医師会支部長に女性が3名、各種委員に10名が入れられました。地域医師会の仕事を通じて、女性医師の社会参加が促され、ひいては日本女医会の会員が増加する事を切に願っております。

争いのない社会を

江東 赤塚智香

新年おめでとうございます。

国際女医会議も成功裡に終り喜ばしく思います。関係各位の先生方のご努力に感謝申し上げます。私個人といたしましてはオープングレセプションで敬愛申し上げる美智子皇后様の神々しいお姿に接し感激のひとつきでございました。

国内では新潟県中越地震災害、北朝鮮拉致問題、国外ではイラク派兵と不幸な状況が続いております。グローバル化の時代、世界中のさまざまな主義主張の異なる国と仲良くお付き合いしていかなくてはいけない困難さを実感致しました。唯一、アテネオリンピックでの日本選手の大活躍は嬉しい出来事でした。

今年こそ争いごとのない平和な社会を願っております。

あらためて仕切り直しの年

品川 柿島八千代

あけましておめでとうございます。

「光陰矢のごとし」時の流れの速さに「我を悟る」の心境です。

今年こそ「なんとか」と理想に燃えたったのも「夢」のごとく何処かへ飛び去り、あらためて仕切り直しの年と思うことです。

世の中、なんでこんなに騒がしいのでしょうか。「少子高齢化」の進行や自由経済社会の進展などによる規制緩和の取り組みなど、いろいろ難しいことが問われて参りました。

医療関係者として「医療経済」の観点からも人任せにせず、多く国民から評価されるように検討を急ぐべきと考えます。「女医」でないと考えが浮かばないこともあると思いますので、女医会が国民医療の将来のあるべき姿を模索し、理想に向けて邁進していくことを望む次第でございます。

女医会に期待!

杉並 千葉奈緒子

新年を迎え、今後の日本の医療制度の行方を危惧している。昨年、混合診療解禁に反対する医師会主体の運動や広告を目にする機会があり、集会にも参加した。が、どれもアピールの仕方がうまいと思えるものはなかった。結果的に見れば、それなりの効果はあったと思うし、各医師会執行部の方々のご努力は大変なものだったと思う。先の参議院選挙の結果を見てもわかるように、末端の会員一人一人の関心度があまりに低いからだ。医政なくして医療なし……末端会員の意識改革をしなければ明日の日本の医療はないと思う。

国民のための医療を

墨田 道永麻里

新年おめでとうございます。

昨年は、アテネオリンピックでの史上最多のメダル獲得に日本中が沸きました。しかし、国際的には自衛隊を派遣しているイラク戦争が長期化し、現地の日本人人質が殺害されました。国内でも、悲惨な事件が数多くありました。また、数多くの台風の来襲、新潟中越地震という自然の猛威に多くの犠牲者が出ました。

医療界におきましても、混合診療の解禁、株式会社の参入等、各医師が真摯に受け止めなければならない問題が山積しています。診療所で診療だけをしていれば済む時代ではなくなりました。保険診療の

危機を迎えようとしています。医師ひとりひとりが、この現実を捉え、国民のための医療を継続していく、そのような年になってほしいと思います。

希望のもてる一年に

世田谷 斉藤文子

明けましておめでとうございます。昨年は国際女医会議も成功裡に終り、会長はじめたくさんの先生方のご努力の賜物と本当に嬉しくほっといたしました。

これとは裏腹に、例年になく日本列島を直撃した台風が多く、各所が浸水洪水に見舞われ、その復興も手付かずのうちに、新潟県中部の予想外の大地震に直面し、何とも最悪の年であったように思われます。さらに日本経済の低迷は国民の脳裡に根強く突き刺さっている毎日でありました。

私ども女医として老化の進むなかでの介護に、少子化に伴う幼児の健康に対し、果たすべき役割は眼前に山積しております。しかし、医療の問題は次々に厚い壁が立ち上がり、負担金の増加、さらに混合診療の問題など、ひと時も見逃せないのが現状です。われわれがどんなに懸命に署名、陳情したところで、どうにもならない政治に苛立ちでいっぱいです。

さらに何年となく解決してない拉致問題は、テレビなどを見るにつけ、胸がしめつけられる思いです。

今年は何とか少しでも希望のもてる明るい一年でありたいと願っている一人です。

28 年前を思い出して

台東 尾中妙子

新たな年を迎えるにあたり、会員の皆様方のこれからのますますの発展を願い、かつご健康をお祈りしつつ、一言お祝いを述べさせていただきます。

昨年（2004 年）7 月 20 日、初代日本女医会東京都支部連合会の会長である、今野信子先生の卒寿の会がありました。場所は六本木のアークヒルズクラブでした。先生は、いつものように大変温和であり、相変わらずお元気でした。私も何十年ぶりかで、ゆっくりとお話しができて、大変良い思いをしました。

昨年は、また国際女医会議が開かれました。私も 28 年前の国際女医会に出席したことを思い出しました。今は亡き柳瀬先生と添田先生が元気でいられたことを思い出しました。

諸先輩の偉業に学ぶ

豊島 堀口 文

新春のお慶びを申し上げます。

昨年は日本女医会百周年を記念して日本における 2 回目の国際女医会議を開催し成功裡に終了できたことは大変慶ばしいこととございます。

社会における女性医師への信頼はますます高まってきたおり、これをどのように受けとめていくかは今後の大きな課題であります。私は産婦人科と心療内科の専門医として女性外来も担当しておりますが、ますますその感を強くしております。

私たちは日本女医会を通じて結束し、一世紀にわたる諸先輩の偉業に学び、若い女性医師の高い能力に期待しつつ、女性医師の性差による社会的負担を克服して、自らの健康も守るよう考えてゆきたいと思ひます。

女医の適性が重要に

練馬 後町暁子

明けましておめでとうございます。

昨年は災害の多い年になりました。

被害に遭われた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。

昨年 7 月に東京で開催された国際女医会議は大変な盛会で、世界各国の女医さんのパワーに圧倒されました。

わが国でも医学部入学の女性の占める割合が年々増加している、医学生の中で成績の上位を女子学生が占めるケースが多いなどと報道されているのを聞くにつけ、女医である私どもにとってはとても心強いことです。今後ますます女医の適性が重要かつ重要になって来るでしょう。

日常の医療はもちろんのこと、小児医療や高齢化社会に対する医療の取り組みなど女医の役割が不可欠になりつつあります。

私も、今年は少しでもこれらの地域医療のお役に立てるよう努力したいと思っております。

どうぞよろしくご指導下さい。

私たちが解決

港 村田洋子

新年おめでとうございます。皆様には、心新たに新春をお迎えのことと存じます。

昨年は、各地で災害が多発、犯罪の増加とともに

暗い一年でしたが、夏に行われたオリンピックでは、日本人選手、特に女性選手の活躍はすばらしく、睡眠不足になりながらもエールを送った方も多いと存じます。近年、女性の社会への進出は急激に伸びています。それに伴い、特に働く女性においては、さまざまな問題があります。しかし、社会は未だに男性中心の環境です。従って、完備されていない社会で、仕事をする女性にとっては、さまざまな困難があります。しかし、それら問題は、重要視されず、解決されていないのが現状です。最近では、女性外来を設立した大学病院もありますが、全国に普及はされていません。女性をとりまく病気には、なにも出産、育児や、婦人科的な病気にとどまらず、さまざまな病気が、しかも、性的な違いをもって発症してきています。

これらは、日本だけの問題でなく、全世界での重大な問題になりつつあります。従って今後は、是非、一番身近な私どもがこれら問題を少しでも解決し、女性のために働く必要性がでてきたと考えます。私も、微力ながら、まずは地域から少しずつ始められたらと考えています。

自己研鑽の年

東女医学内 渡辺弘美

明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い申し上げます。

「少子高齢化」はわが身にも、その周辺にも確実に訪れているのが感じられるこの頃です。93 歳になる父は、母が亡き後は隣家の姉やヘルパーさんの援助で在宅での生活が可能でしたが、年齢相当の知的・身体的問題の出現によりそれも困難といわざるをえなくなってきました。長年住み慣れた家を離れ、在宅生活に終止符を打たなければならないことを、いつか、いかに説得するかが子供たちの懸案でしたが、「腰痛を東京で治したい」という父の一念により、あっけないほどすんなりと東京での入院介護生活が始まりました。そして昨年夏に私が父のキーパーソンとなったのです。

これまで、看護・介護・福祉の業務にも携わり少しは高齢者の実態や心の動きを理解していると自負していたものの、身内のこととなると感情が先にたち、理性的判断が鈍り、訳のわからないことを言う父を責めてしまいます。そして引き続き起こる自己嫌悪。仕事を辞めて親の介護をする選択肢を考えてはみたものの、「女の自立」を唱えて私を医者にし

てくれた父がそれを喜ぶとは思えませんでした。100 歳まで頑張るという父に、今年はずっと優しい娘でいられるよう、まさに自己研鑽の年となりそうです。

女医のための風見鶏に

都下東 野々田宣子

新年おめでとうございます。

今年の干支は酉。私の診療所の隣の小学校では鶏を飼っており、空が白み始めるころ、「コケコッコー」と大きな力強い鳴き声が響き渡ります。^{うるさ}煩いという人もいますが、私はこの夜明けを告げる鳥の鳴き声をととても気に入っています。気分が明るくなり、元気をもらいます。

昨年は国外ではイラク戦争、テロ、国内では台風による水害、新潟県中越地震など不幸なことが多い年でした。太陽を迎える霊鳥といわれる酉年の今年、悪きことも良きことに変わってゆくのではないかと期待します。

日本女医会の活躍が多くの女医さんたちの風見鶏となりますように。

一層の社会へのアピールと地位向上に向けて

都下西 大塚貞子

新年、あけましておめでとうございます。

申年の平成 16 年は各地の大雨による水害や、新潟県の大震災、最後にアジア各地をおそった大津波と、災害の多い 1 年でありました。また、特に子どもの誘拐や虐待なども多く、あまりよい 1 年ではありませんでした。

しかし、日本女医会にとっては国際女医会議の開催という大イベントを成功させた記念すべき 1 年でありました。近年、女子医学生の増加により、少しずつ女性医師の環境も改善されて来ているように思いますが、まだまだ多くの問題を抱えています。今年はお一層の社会へのアピールと地位向上に努めなければならないと考えています。

酉年は飛躍の年と言われています。女医会の皆様様の今年のご活躍とご多幸をお祈り致します。

特集

第49回 日本女医会定時総会

.....2004.5.15. ホテル青森

第 49 回定時総会が平成 16 年 5 月 15 日（土）、ホテル青森にて開かれました。会長挨拶の後、平成 15 年度の会務報告がなされました。女医会の活動として昨年より引き続き、「10 代の性と健康」の支援事業を 2001 年より 2003 年まで 3 年間続けてきて性教育のビデオを作りました。インターネット上で十代の性の悩みに答えるサイトを立ち上げました。ナショナルコーディネーター平敷理事より間近に迫った第 26 回国際女医会議についての詳細な説明がなされて、多くの会員の参加を期待する旨述べられました。議事では第 1 号議案、平成 15 年度一般会計収支計算書では、収入は当期収入合計は、2,138 万 3,000 円で、会員 1,619 名の会費収入となっています。当期支出合計は、3,277 万 3,815 円となっています。第 2 号議案、平成 16 年度事業計



画案、第 3 号議案、平成 16 年度一般会計収支予算案も承認されました。第 4 号議案、次期および次々期開催地も承認されました。表彰は吉岡弥生賞・荻野吟子賞に推薦者はありませんでした。学術研究助成は竹宮孝子先生、田村悦代先生、矢口有乃先生が授与されました。閉会は石原副会長が青森県会員の皆様への感謝の言葉でしめくられました。

（広報部 山崎康子）

ごあいさつ

100 年の歴史の さらなる発展のために

会長 橋本葉子

春の花が一斉に咲き乱れる北国特有の素晴らしい季節に、第 49 回日本女医会定時総会を青森で開催することになり、特別講演を始め、昨晚の前夜祭、本日の懇親会のご準備など、前田先生を先頭に支部の皆様が大奮闘をして下さいました。最初にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。

さて、皆様ご承知のことですが、日本女医会の設立目的は、

- ①女医相互の研鑽、親睦及び地位の向上
- ②福祉の増進並びに地域医療などの社会活動
- ③国際交流と親善

に大別されます。そのための事業として種々のことを行っておりますが、今年日本女医会の目の前の課題は、第 26 回国際女医会議を成功させること、お

よび会員増強の件でございます。国際女医会議は総会の議題になっておりますし、平敷事務局長から詳細を申し上げますので、私は公益法人としての日本女医会の新しい活動を少しご紹介致します。

1. 「子育て支援小委員会」

日本女医会は社団法人として公益性の高い事業の 1 つとして、女医会役員と会員とで作りました「子育て支援小委員会」が、独立行政法人福祉医療機構（旧医療事業団）の子育て支援基金の助成を受けて、「女性医師による 10 代の性と健康の支援事業」を 2001 年度から 3 年間続けて参りました。ビデオ（『わたしとあなたの大切なこと』）作製、インターネット上で 10 代の性の悩みに答えるサイト（「女性医師によるからだところの相談室」）も開設しましたが、なかでも、女性医師および医師以外にも対象を広げて、東京で 2 回、宇都宮、横浜、札幌、盛岡、長野、岡山と合計 8 回開催しました「10 代の性と健康」指導者養成講座は、地域での女医会活動を啓発し、ネットワーク作りに大いに役立ったものと自負しております。この事業に対する平成 15 年度報告書・総括は既に支部長先生にはお送りしてあ

りますし、会場にも数冊持って参りましたが、ご希望の方には差し上げますので、事務局へご連絡下さい。2004 年度は「働く女性の育児環境整備支援事業」を同じ「子育て支援基金」に申請し、2 年間の助成が受けられる内定を頂きました。主に、病児保育や病後児保育の実態調査および解析、調査に基づく医師、看護師、保育士を対象とする研修会を予定しておりますが、これから委員会による事業計画に基づいて活動したいと考えております。

2. 医師の環境問題の調査について

これは学術部と理事以外の会員から成る「医師の環境問題調査小委員会」が、日本女医会の予算で行っているものです。女性医師の医学部職位の現状調査や学会活動の現状も調査し、学会活動に関しましては「医学教育」2002 に論文として発表致しました。昨年は「卒後 10 ～ 15 年医師の労働環境と健康に関する調査」を、東京医科歯科大、慶應、昭和、東邦、日大、東京女子医大、関西医大 7 大学卒の男女の医師 3,324 名を対象に行い、現在統計処理を行っております。対象抽出に当たっては、2003 年度はプレリミナリーな調査として東京にある現理事の出身校および関西医大を選びました。この結果は、国際女医会議で発表されます。

3. 会員増強の件

何処の国でも女医会の会員が減少しております。会員をどうしたら増やせるか、世界共通の悩みとなっておりますが、日本女医会は次のようなことを考えております。

ひとつは、ブロック別懇談会による支部の活性化を計ることです。既に、色々な所で懇談会を開催し、それぞれ会員の皆様のお声を聞かせていただき、また、中央の事業に関するご理解を頂戴しております。このブロック会議を通して、各支部の会員増強をお願いしたいと考えております。

ふたつめは、ある特別の課題について地域ごとの啓発活動にご協力いただくことによって会員増強を計りたいと考えていることです。10 代の性と健康の支援事業として、各地で指導者養成講座を開催致しましたが、これもその 1 つであり、今年度からは働く女性の育児環境整備事業を通して、日本女医会支部の活性化にも繋げ、ひいては会員増強にも繋げたいと考えております。また、支部主催の公開講座の支援もしておりますので、ご計画があれば事務局に少なくとも 3 ヶ月前までにご連絡下さい。

4. 各賞と助成

日本女医会は毎年、吉岡弥生賞、荻野吟子賞、学術研究助成、公開講座の助成を行っておりますが、公開講座の助成以外は 12 月 25 日に締め切り、本総会で各賞を授与することになっております。今回は残念ながら吉岡弥生賞、荻野吟子賞の推薦がありませんでした。この両賞は受賞の適格者を会員の皆様から理事または支部長宛に推薦して頂き、2 名以上の推薦者により、必要書類を会に提出して頂いて選考することになっております。推薦依頼は遅くても夏に発行される日本女医会誌には掲載されておりますので、お心当たりのあるときには、ご推薦を宜しくお願い申し上げます。

男女共学の医学部卒業生が多くなりましたので、女性だけの集団に違和感を覚える人が多くなっていることは否めません。しかし、女性だけの集団であるからこそ、その特徴を発揮して、社会に貢献することが出来る分野もあるはずでございます。「数は力なり」と申します。100 年の歴史を誇る日本女医会の更なる発展のために、地道な活動を継続して会の目的を達成したいと考えておりますので、本日の総会の議事も含めて、宜しくお願い申し上げます。



前夜祭で、「えふり太鼓」の出演者の皆さんと

社団法人日本女医会定時総会議事録

日時 平成 16 年 5 月 15 日 (土)
場所 ホテル青森 (青森市堤町 1 丁目 1-23)
午後 1 時 02 分開会
司会 澁谷きよみ

社団法人日本女医会総会開催に際し

会員数 1,909 名
出席数 88 名
記名委任数 430 名
白紙委任数 303 名

以上のとおり日本女医会定款第 27 条の定足数 377 名に達し、総会が成立する旨の報告あり、開会を宣す。

会長挨拶 橋本葉子
物故者への黙祷

平成 15 年度物故会員に黙祷

報告

1. 会務および事業報告 加藤竺子
配布ずみの資料にもとづき報告
2. 平成 15 年度特別会計報告 森川由紀子
吉岡弥生賞基金会計
国際女医会議記念事業基金会計
以上について配布ずみの資料にもとづき報告
3. ナショナルコーディネーター報告 平敷淳子
4. 次期及び次々期開催地に関する報告 橋本葉子
次期開催地は愛知県、次々期開催地は東京都

議長団選出

小田泰子、中野慧子 [議長団、議長団席に着席]

議事録署名人選出

斉藤恵子、深井登起子

議事

第 1 号議案

- 1) 平成 15 年度一般会計収支計算書案 (案) 船越由美子
配布ずみの資料にもとづき報告
▲ 原案どおり可決
 - 2) 剰余金処分案 船越由美子
▲ 次期会計へ繰り越すことを原案どおり可決
- 会計監査報告 川田喜代子
▲ 監査の結果適法かつ正確であることを認める旨の報告、承認される。

第 2 号議案

平成 16 年度事業計画案

庶務部

会員増加推進
吉岡弥生賞の募集
ブロック別懇談会の開催

学術部

研究助成
学術講演研修会を年数回開催
「卒後 10 ～ 15 年医師の労働環境と健康に関する調査」のアンケート結果を国際女医会議で発

表予定

事業部

全国公募による公開講演会の援助
荻野吟子賞、地域功労賞の決定と授与
地域医療奉仕活動への助成
社会保険新報社への原稿協力：月刊「いきいき」に健康記事掲載
講習会等の事業実施
災害、緊急時行動
バザー、親睦活動による事業
ホームページの更新と活用
厚生労働省「健やか親子 21 推進協議会」の協力団体として活動

渉外部

国内各団体との交流
国際交流
他団体との公開講演会の開催
国連 NGO 国内婦人委員会として活動
女性の異業種団体との交流
マスコミへの働きかけ
その他

広報部

機関紙の発行

第 26 回国際女医会議組織委員会

2004 年、第 26 回国際女医会議開催に向けての諸活動

子育て支援委員会

「十代の性と健康」指導者養成講座を 2 回開催
予定

その他

独立行政法人・福祉医療機構より助成を受け「働く女性のための育児環境整備支援事業」を行う
予定

▲以上原案どおり可決

第 3 号議案

平成 16 年度一般会計収支予算案 濱田 啓子
▲ 原案どおり可決

第 4 号議案

定款改正の件 橋本 葉子
▲ 厚生労働省の指導の下、詳細については理事会に一任で可決

川田仁子会員 (港支部) より

「吉岡弥生賞がない」との報告があったが、「吉岡弥生賞の推薦がない」の誤りではないかとの指摘があった。また、名誉ある吉岡弥生賞への推薦を徹底すべきとの意見が出された。

表彰

- 1) 学術研究助成金授与者
竹宮孝子、田村悦代、矢口有乃

閉会の辞

石原 幸子

午後 2 時 44 分開会

**学術研究助成
を授与されて**

**神経細胞脱落のメカニズム解明
に向けて**

東京女子医大第一生理

竹宮孝子

このたびは、第 24 回日本女医
会学術研究助成を賜り、心より御

礼申し上げます。

今回の研究課題は「痙攣重積発作後に発生する海馬細胞死における COX-2、mPGES-1、PGE₂ の作用」ですが、私はこれまで痙攣後に脳内で新たに誘導されてくるシクロオキシゲナーゼ-2 (COX-2) とその合成産物に注目し、それらの脳内における作用について解析を行ってまいりました。近年の脳研究の発展に伴い、このような脳内物質の増加が脳疾患の病態に深く関係するのではないかという考え方が進み、現在世界中で様々な疾患の動物モデルに分子生物学的、組織学的、生化学的そして生理学的手法を採り入れた多角的な研究が行われています。本研究も、1993 年に痙攣後の海馬や扁桃体などで大量の COX-2mRNA が発現することが発見されたことから進展したのですが、私は幸運にもその発見者である東京都神経科学総合研究所・神経薬理部門の山形要人先生にご指導頂く機会に恵まれ、この研究に携わるチャンスを頂きました。

これまでの研究から、海馬の神経細胞に誘導されてくる COX-2 は痙攣発作頻度を増加させる作用を持つことがわかり、そこにはおそらくプロスタグランジン E₂ (PGE₂) の合成が関与しているだろうということがわかりました。また、異なる痙攣モデルからもその結果を裏付けることができました。そこで本研究は、より臨床的な問題となっている難治性てんかんを念頭に置き、その病態に関与すると考えられる痙攣発作後の海馬神経細胞脱落（細胞死）に焦点を絞りました。そして現在は、その神経細胞死に対して発作で誘導されてくる COX-2、mPGES-1 そして PGE₂ が持つ作用を解明すべく努力しています。この研究から神経細胞脱落のメカニズムを少しでもひも解くことができれば、その結果は難治性てんかんの治療にも結びつく可能性が高くなると考えています。本会の研究助成はこの研究に十分活用させていただき、今後も研究に邁進していく所存です。

最後になりましたが、日本女医会会長の橋本葉子先生をはじめ、選考委員の先生方、また東京女子医

大・第一生理の川上順子先生、都神経研・神経薬理の山形要人先生および関係各位に心より感謝申し上げます。今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。


**声帯内自家脂肪注入術に対する
再生医療の応用に関する基礎研究**

東海大学医学部付属

東京病院耳鼻咽喉科

田村悦代

このたびは、第 24 回日本女医
会学術研究助成を賜り、深く感謝申し上げます。

また、歴史ある日本女医会の助成を賜りました事は、大変光栄に存じております。

今回の私の研究課題は、「声帯内自家脂肪注入術に対する再生医療の応用に関する基礎研究」であります。

私は、埼玉医科大学を卒業後、慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科学教室に入局し、故斎藤茂司教授のもとで、喉頭学を学びました。現代の喉頭顕微鏡手術は、斎藤教授によって開発された手術法で、喉頭内腔における手術の golden-standard であります。ですから、斎藤教授から受けた教育は、私が耳鼻咽喉科の医師として仕事を始めてから現在に至るまでの臨床ならびに研究の全ての基礎となりました。

声帯内注入療法は、1911 年 Brunings 以来、片側反回神経麻痺によっておこる発声時の声門閉鎖不全のための嗄声症例に対して行われてきた治療法ですが、本方法の歴史は、注入材料の歴史といっても過言ではありませんでした。欧米では、テフロン、本邦では、シリコンが使用されて来ました。しかし、十数年前から、これらの材料にかわって、自家組織を用いる方法が報告されるようになり、私自身も自家筋膜や脂肪を注入材料として使用してきましたが、自家組織である為に、注入後の吸収による容量減少が避けられず、治療後の効果の持続期間に問題が残りました。最近では、再生医療をとり入れた治療が多くの領域で試みられるようになってきましたが、喉頭領域では、ほとんどみられなかったのが現状でした。そして、たまたま、頭頸部腫瘍学会で、京都大学の田畑泰彦教授の特別講演を拝聴し、細胞増殖因子の利用に興味をもちましたことが、今回の研究のきっかけになりました。幸い、田畑教授にも直接御指導頂く機会にも恵まれ、線維芽細胞増殖因子を注入脂肪に混合することによって、注入後に生体内で脂肪組織の増殖がおこる可能性に関する研究

をスタートすることができました。そして、今回賜りました本会の研究助成を活用させていただき、研究成果を御報告できますよう、日々努力致す所存でございます。

最後に、日本女医会会長の橋本葉子先生はじめ、選考委員の先生方ならびに関係各位の方々に心より感謝申し上げます。

今後とも、御指導、御鞭撻の程、宜しく御願い申し上げます。



女性医師の勤務環境と現況における国際比較検討

ブリュッセル自由大学医学部
集中治療医学教室

矢口有乃

このたび、名誉ある日本女医会学術研究助成を授与させていただき、感謝の意と同時に身に余る光栄と存じております。本研究のテーマは、「女性医師の勤務環境と現況における国際比較検討」であり、私が高校時代に弁論部に所属し取り組んでいた課題、「女性問題」の延長でもあります。集中治療医学、生態侵襲医学という医科学の分野での研究と同時に、私自身にとりましては、ライフワークのテーマの一つとも言えます。

女性には女性ならではの社会的役割とライフサイクルもあり、職場と家庭での役割の両立は、男性とは違った現実と直面する問題だと思います。あくまでも一人一人の人生観、人生設計として個人的な問題なのか、あるいは社会で取り組むべき問題なのか、

あるいは個人と社会両方の問題なのか、その場合に、どの部分が個人で解決することであって、どの部分が社会が担っている問題なのか、私自身、いまだ答えを見出しておりません。そんな折に欧州、米国での留学中に、専業主婦が少なく、家事や育児に男性も本邦以上に参加する習慣のある欧米でさえも、女性の大学教授や外科系の女性医師の割合が本邦同様に少ないことに気付き、その理由を求めることにより、上記に対する答えが少し見出せるのではないかと考え、始めたのが本研究のきっかけとなっております。

我が国は、高齢化、少子化社会に既に突入しています。このような人口構造の変化のみならず、時代の変化とともに、女性として、あるいは女性医師としての社会的役割も変化しつつあるのかもしれない。我が国の歴史、伝統、慣習、文化を踏まえた上での、我が国ならではの男女共同参画社会づくりに、本研究が、何か提言できれば、と考えております。

またこの課題につきましては、各助成財団に研究助成の申請を試みておりますが採用課題に合致する財団も少ない上に、なかなか採択されないのが実情であり、今回の授与は、誠にありがたく感謝いたしております。

最後に、本研究にあたり、日本女医会会長の橋本葉子先生はじめ共同研究としてご協力をいただいております国際女医会の各先生方、関係者の皆様にご場をお借りして、改めて謝意を申し上げます。

第 49 回日本女医会定時総会を開催して①

感謝、感激、安堵、そして自信、団結へ

青森支部長 前田慶子

全国の日本女医会の皆さま、明けましておめでとうございます。

昨年は国際女医会議が大成功で、役員の方には大変ご苦勞様でございました。また、この会議で平敷先生が 2008 年から国際女医会会長になられることも決定し、おめでとうございます。

さて、昨年は当青森支部で第 49 回日本女医会定時総会を開催させていただきましたが、「この会は国際女医会議の露払いである」というキャッチフレーズが効いたのか、予想以上の 157 名という多数

の方のご出席をいただきましてありがとうございました。役員の方には国際女医会議の準備でお忙しい中でしたので、とんぼ帰りされた方もあり、楽しい前夜祭へのご出席や懇親会でのご馳走を召し上がることもできずじまいで、残念でございました。準備の段階ではいろいろ苦勞があり、総会を開催することは大変なことだと思いましたが、会期中は緊張のなかにも非常に楽しく、てきぱきと各自の役目を果たしている支部会員は頼もしく感じられました。「誠意をもって皆さまをお迎えする」という初期の目的は達せられたと思っております。聞くところによりますと、会員のスローガンは「支部長の顔をつぶすな」というものだったそうです。出席人数を多くするために親しい支部長さんにお電話したり、苦しいときの同級生頼みでお願いしたら、北

から南からクラスメートが 10 名も出席してくれたのはありがたいことでした。特に花田先生の記念講演が、途中で退席する人も居眠りする人もなく、質問がなかったときのためにと私が用意したカンニングペーパーが無駄になったほど多くの質問があり、その質問も途中で打ち切らねばならないくらいの盛況だったこと、懇親会のご来賓がお忙しいなか全員出席して下さったことも嬉しいことでした。また、ねぶた囃子で最高に盛り上がったとき、会長先生や 86 歳で杖をついて四国からお出でになった小出先生をはじめほとんどの先生が半纏を着て会場を跳ねて下さったことや、お忙しいなかを前夜祭が終了してからお出でくださり食事にありつけなかった水田先生と、10 時すぎにラーメン屋で餃子を食べながら「独身万歳」を語り合ったことなども感激でした。懇親会終了後、余力のある先生方はホテル 17 階のカラオケバーで 11 時まで頑張り、職業を間違えたのではないかとと思われるほどの歌唱力とファイトは見事でした。「必ず行くわよ」とおっしゃっていた先生が神経痛になられたり、出発直前に骨折なさった先生やご主人が発病されて断念された方もおられて、思わぬハプニングがあるものだと思います。

した。準備委員会で救急班を組織し二次病院の手配もしましたが、会期中無事故で、皆、安堵しました。

今振り返ってみますと、この 1 年間は皆で頭をひねり、アイデアを出し合って 1 つの目的に向かって力を合わせた充実した期間でした、青森県の良さを全国の皆様に知っていただいたこと、女医会に関心のなかった若い女医の方々、また男性医師の方々にも女医会の理念や存在を改めて認識していただいたことなど、総会を開催してよかったと思っております。とくに前夜祭や懇親会に同席された男性医師は女医会のパワーに圧倒されたようです。

反省会をかねて 7 月に支部総会を行いました、皆の顔は重責を果たした安堵とやればできるんだという自信に満ちて輝いていました。

最後になりましたが、全国からはるばる青森までお出でくださった皆様、また、楽しかった、よくやったと多くの先生方からねぎらいのお手紙をいただいたこと、とくに会長先生が「津軽の底力」と題して医事新報に総会を紹介する記事をご投稿して下さったことなど、大変ありがとうございました。心からお礼申し上げます。では皆様、今年は賑々しく名古屋でお会いいたしましょう。



●「効能・効果」、「用法・用量」、「使用上の注意事項」は製品添付文書をご参照ください。



アレルギー性疾患治療剤
指定医薬品

〈薬価基準収載〉

アレロック錠 2.5
Allelock Tablets 塩酸オロパタジン製剤 2.5mg・5mg錠



製造発売元 〔資料請求先〕
協和発酵工業株式会社
東京都千代田区大手町1-6-1
<http://iyaku.kyowa.co.jp/>



プロモーション提携 〔資料請求先〕
杏林製薬株式会社
東京都千代田区神田駿河台2-5

03.10.

第 49 回日本女医会定時総会を開催して②

青森なりの誠意を込めて

青森 黒田迪子

去る 5 月 17 日、第 49 回日本女医会定時総会がホテル青森にて開催、157 名の会員が出席しました。

青森での開催が内定後、青森支部長の前田慶子先生の下、大津幸世先生を事務局長として 12 人で準備委員会が立ち上げられました。「青森は青森なりに誠意を込めて」と会場の選定に始まり、記念講演の依頼、アトラクション、エキスカッション、お料理など、一つ一つ決めていきました。懸念されたのは、この長びく不況下、予定通りの協賛金をいただけるかということでした。しかし、各業界の方々のご理解と会員の協力の末、成果を挙げることができました。

成功を祈る気持と期待と不安とで迎えた 5 月 14 日の前夜祭。会長橋本葉子先生のご挨拶に続き、アトラクションはヨッチミラー合唱団（青森市医師会男性コーラス）とえふり太鼓の実演（弘前市医師会有志）。事務局長の大津先生も紅一点で、見事な腕を披露されました。最後に、会場全員で歌った「荒城の月」「ふるさと」に会場は和やかな空気に包まれ、「女医会の歴史の中で、男性医師が快く協力して会を盛りあげ、こんなに楽しませていただいたのははじめて」との加藤副会長のお言葉に会場は大いに沸きました。

翌 15 日の総会は、会長のお言葉に続き、議事も順調に進行し、議案も全員拍手で可決され、最後に東京女子医大の竹宮孝子先生他 2 名の先生方に学術研究助成金の授与がありました。続いて弘前大学皮膚科の花田勝美教授による記念講演「女性のための皮膚科講座」も身近な題目だけに大変な好評でし



ねぶた囃子で会場は最高潮に

た。夜の懇親会は、三村県知事、青森市長、県医師会長のそれぞれのお立場での人間味溢れるご挨拶に続き、遠藤弘前大学長の乾杯で始まりました。アトラクションは津軽三味線、津軽手踊り、そしてねぶた囃子の実演で、先生方による飛び入りのハネトも出て会場は最高に盛り上がり、青森にも素晴らしい伝統芸能があることを心から誇りに思いました。一方、知事自ら、県健康福祉部の医師対策グループの方々と一緒に医師確保のアピールをされるお姿に青森県の医師不足の深刻さを垣間見る思いでした。会員自ら持ち寄った品物で開いたバザー也大盛況でした。

また人の心をひきつけてやまないユーモアとセンスに溢れたわれらの支部長前田慶子先生の底力をあらゆる場面で増々感じ入った次第です。

定時総会が盛会に終わり、準備委員の一人として嬉しさと感謝で一杯です。最後になりましたが、遠路、青森までいらして下さった先生方に厚く御礼申し上げます。

前夜祭と懇親会

全員で跳ねた夜

青森 羽田知子

定時総会に先立ち、5 月 14 日に前夜祭が行われました。北海道から九州まで遠路はるばるたくさんの先生方がお出でくださり、嬉しさと感謝でいっぱいでした。会場入り口で、青森支部長の前田慶子先生がお一人お一人を大きな声でご紹介し、私たちも拍手でお迎えいたしました。前田先生が熱烈歓迎の辞を述べ、橋本葉子先生のご挨拶、石原幸子先生の乾杯のご発声で会は始まりました。前田先生はかねがね男性医師に女医会のことをもっと知ってもら



ヨッチミラー合唱団の情緒豊かな歌声



前田先生を筆頭に跳びはねる
会員たち

いたい、また、青森県の男性医師が女性医師にいか
に協力的であるかを皆さまにアピールしたい、と考
えていたそうですが、その考えに賛同した男性医師
がアトラクションを一手に引き受けてくれました。
青森市医師会男性コーラスの「ヨッチミラー合唱団」
は情緒あふれる歌唱の後、女医会の先生方の手を取り
肩を組んで歌声をリードし、会場は和やかな空気
に包まれました。弘前市医師会有志の「えふり太鼓」
は事務局長の天津幸世先生が紅一点のメンバーで見
事な撥さばきを披露し喝采を浴びました。加藤竺子
先生が「女医会の歴史のなかで男性医師から楽しま
せてもらったのは初めてで、帰ってから九州男児に
刺激を与えなければ……」とおっしゃって会場を沸
かせました。名だたる先生方の意見発表や歌が次々
と飛び出し、お祭り気分で盛り上がったなか、明日
を楽しみに散会となりました。

翌 15 日、総会の後に懇親会が華やかに行われま
した。県知事、青森市長、県医師会長より来賓のご
挨拶、弘前大学長より乾杯のご発声をいただきました。
それぞれの方が「ようこそ青森へ」と大歓迎し、
青森の良さも宣伝、また女性医師への期待とねぎら
いの言葉に溢れていて会場に感動を与えました。続
いて来賓の紹介、大先輩の村上京子先生へ橋本会長
からの花束贈呈が行われました。その後、一角にね
ぶたを配した会場で青森の海の幸山の幸を楽しみな
がらのアトラクションが続きました。青森県の伝統
芸能を最高の演奏でご披露したいという私たちの思
いから、高名な演奏者が津軽三味線、津軽民謡、津
軽手踊り、ねぶた囃子を次々と繰り広げ、惜しみ
ない拍手をいただきました。他県からお出でになっ
たほとんどの先生方がねぶた半纏に袖を通し、ねぶ
た囃子に合わせて跳ねていただいたとき、会は最高
潮となりました。県からは医師確保対策グループも
出席し、知事を筆頭にして青森県での医師の働く環



境や意義を述べて女性医師の協力を求めていた
が、この場が地域医療支援活動の一助になったの
ではないかと思います。最後に次期開催地の愛知県
の先生方が決意表明をされ、前田先生が大きなエール
を送って会は終了いたしました。

前夜祭も懇親会も前田先生の魅力と個性に溢れた
会となり、誠意をもって皆さまをおもてなしできた
のではないかと私たちは自負いたしております。遠
路はるばるお出でくださいました皆さま、本当にあ
とがとうございました。

青森市内観光に参加して

青森といえば、「ねぶた」

青森 木戸愛子

風薫る 5 月、第 49 回日本女医会総会には全国各
地から、会員の皆さまに多数のご参加をいただき、
まことにありがとうございました。

総会が無事に終了し、支部会員一同、ホッと安堵
の胸をなでおろしております。

先日、広報部より、青森市内観光についての原稿
の依頼がありましたので、ご案内方々、ご報告させ

ていただきます。最初の見学先は、世界に誇る三内丸山遺跡でした。広大な敷地内には、竪穴住居、掘立柱などの復元の建物が、数個配置され、とくに掘立柱（想定復元）の六本柱は、当時、望楼の役目を果していたのではないかといわれ、津軽の空を見上げるようにそびえ立っております。そのほか、大人の墓や子どもの墓が整然と並べられ、子どもに供えたいらしい供物の形も思われました。

また 2m 以上の高さで続く、盛り土の狭い通路の左右には、1000 年以上前の地層のなかから飛び出している土器、石器、土偶などの破片を、手にとるような近さで、みることもできます。

次は、棟方志功記念館に向かいました。「わだば、ゴッホになる」。これは津軽弁で、「私はゴッホになるんだ」の意味です。偉大なる画家・ゴッホを目標にして、絵、書、版画にと、精魂こめて作制した数多くの作品が季節ごとに展示内容を変えて、供覧されております。

市内の閑静な場所に位置する記念館は、校倉造りの落ち着いた雰囲気建物です。まわりの日本庭園も作品を見終わったあと、一息つくのには最適な場所でした。

最後は青森といえば「ねぶた」、「ねぶた」といえば青森と、全国的に有名な「ねぶた」に関する総合施設、「ねぶたの里」へと移動しました。

大型ねぶた 8 台、弘前ねぶた（弘前はネプタといいます）1 台と、勢揃いしたいでたちは、ねぶた祭が終わったあとの落ち着きをみせた、堂々たる佇いでした。地元の私でさえ、何度みてもホレボレする勇姿です。常時流れるねぶた囃子の演奏のなかで「だし」の曳き手やハネトの体験ショーもあって、思う存分、ねぶた気分を楽しむことができます。

売店には、民芸品、特産品がところ狭しと並べられ、観光客の目をひいておりました。

以上郷土の誇りとする観光場所を 2～3 カ所ご案内いたしました。このほかにも県内には、素晴らしい観光の場所がたくさんございます。どうぞ、当地へお越しの折は、ぜひお立ち寄り下さいますようお願い申し上げます。

津軽弘前市内観光ツアーに参加して

古き良き時代に思いを馳せる

理事 山崎トヨ

豪華で楽しかった懇親会の夢心地で「ホテル青森」



翠明荘の前で

をバスで出発。

前夜は一番お疲れの前田支部長のお見送りには恐縮いたしました。

青森支部から 5 名、大阪から川田監事、中山理事他 1 名、京都から松本元理事他 1 名と栃木は私の計 11 名。遠くに岩木山を仰ぎ、真近に見渡すかぎりのリンゴ園を眺めながら北国の自然と文化に触れることができました。東北の京都といわれるほど寺院の多い城下町弘前だそうですが、その中で津軽藩の菩提寺長勝寺へ。曹洞宗三十三ヶ寺が長勝寺構としてまとまっているのは全国でも稀だそうです。弘前駅から 4 キロ離れた地にあり、本堂、庫院、書院、御影堂、御位牌堂、地藏堂、禅堂、そして津軽藩主霊廟など、いづれも津軽の歴史の重みと文化を感じさせられました。特に御位牌堂では心動かされました。藩祖為信公を正面に左右歴代藩主並び、奥方の御霊牌が豪華壮大に安置されていましたが、この中で信義公の位牌が立派で御生母が石田三成の息女であり、色々な物語りを秘めて 4 人の殉死者と共に祀られていました。庫院に飾られていた副葬品にもドキリとしました。昭和 29 年（1954）お墓移転の際、各殿様及びミイラの承祐公（十一代順承公に只一人残された常姫（初め玉姫）へ養子となり十二代藩主になるべき人でしたが 18 歳で御逝去された）の墓から、ミイラが百年間身にうけていた絹麻の帷子、生前書いたり読んだりしたもの、使用した様々なもの、十代藩主の入歯などでした。津軽系図略を後記します。

バスのガイドさんもベテランで心地良く最勝院五重塔へ。戦国時代に戦って亡くなった津軽藩と南部藩の人々を供養するために 1665 年に建てられました。真柱が五層目から一層目屋根の上までしかなく、地下には届いていない珍しい建築ですが 340 年続いているそうです。

津軽系図略

始祖秀栄（ヒデヒサ／藤原基衛ノ第二子秀衛・舍弟）——十代ヲ経テ大浦光信（長勝寺開基）——
盛信—政信—為則—為信（藩祖津軽ト名ノル）——
二代信牧（ノブヒラ）——三代信義——四代信
政——五代信寿——信興——六代信著（ノブア
キ）——七代信寧（ノブヤス）——八代信明（ノブ
アキラ）——九代寧親（ヤスチカ）——十代信順（ノ
ブユキ）——十一代順承（ユキツグ）——
□ 承祐（ツグトミ／ミイラノ若君）
□ 十二代承昭（ツグアキラ）——十三代英麿（フ
サマロ）——十四代義孝—華子（常陸富紀）

桜に紅葉に名高い、初めて見る弘前城、絵葉書き以上に情感があり美しく、古き良き時代が思い浮かび、しばし現実を忘れたくなりました。

津軽藩ねぶた村では色彩鮮かな大きな本物のねぶた、これまた初めてでした。何人かの先生はハッピーを着て気持ち良さそうに津軽太鼓を体験されました。おみやげ売場は広くあっちこっちと走りまわって皆さん各々に…。酒やリング酒やセンベイ等々。何故か（現地限定のせいかな）ニンニクセンベイも人気があったようです。昼食は支部の先生のお骨折りで、有名な翠明荘（青森銀行頭取の別邸）での割烹料理。

書院造りの落ち着いた個室で、お庭を前にして美酒をいただきながら皆様御満足の様子でした。荘内で御当地名産の「こぎん刺し」のかわいい敷物や小物入れなどのおみやげもできました。時間の関係で岩木山神社は行けなかったのですが、皆さん（少なくとも支部以外の6名）は大満足だったと思います。たった6名のためにバス1台を用意して下さり5名も支部から募って下さり、総会その他の準備でお疲れなのに、沢山の津軽弘前の良い所を付き合ってくださいました。ありがとうございました。でも、独りよがりかも知れませんが、私にとり一番良かったことは、バス内や昼食時の雑談のなかで、11人の会員同志がある程度心を通わせ合うことができたこと、女医として同じ悩み、喜びを理解し合い各々がエネルギーをいただけたこと、だと思います。そして女医会の支部、本部の距離をもっと縮めて、女医同志がもっともっと理解し合い手を取り合えるよう努力することが大切だと思いました。荻野吟子先生や諸先輩が切り開き築き、今日まで継続してきた日本女医会を守り育てて行かなければならないと思います。何故荻野先生が女医にならなければなかったのか、何故吉岡弥生先生が女医学校を創立せねばならなかったのかを今でも考えたいと思います。時代は変わって女医の数も激増しそのうち男医対女医の数が

第50回総会記念ワークショップのご案内

愛知県名古屋市中で開催いたします第50回総会を記念して、ワークショップを開催いたしたいと存じます。女医会の将来展望を含めて会員及び女性医師より忌憚のないご意見をいただき、新たな一歩を踏み出す布石と致したいと考えております。女医会員以外の女性医師のご参加も大歓迎いたしますのでお誘いあわせの上、是非ご参集ください。

日時：平成17年5月20日（金曜日）17:00～19:00

場所：ウェスティンナゴヤキャッスルホテル「藤の間」

第一部：平敷淳子理事

このたび第59回国連政府代表代理として第三委員会に出席されました。

その報告を兼ねて講演をしていただきます。

第二部：ワークショップ

4～5のグループに分かれ各テーブルでテーマを決めて

リーダーを中心に話し合いたいと準備を進めております。

詳細は決定次第女医会ホームページ総会欄に掲載いたしますのでご覧ください。また事務局にお問い合わせいただければ決定している範囲でお答えする予定です。多数のご参加を期待しております。

なお、ワークショップに先立ち当日のテーマを決めたいと存じます。今後の女医会活動を見据えて、女医会に対してのご意見をお持ちの先生は是非お聞かせください。女医会の将来展望や改革についてのご意見がございましたら奮ってご投稿いただきますようお願いいたします。

本部事務局宛に郵送にて2月末日までにお送りいただければ幸いです。

逆転する日がくるかも知れません。それでも、いえそれだからこそ先輩の御恩は忘れたくありません。少々くどくなりましたが、今回のツアーに参加して皆様とお会いできて本当によかったと思います。

青森県支部の皆様大変お世話様になりまして誠にありがとうございました。

青森市内・十和田湖観光ツアーに参加して

遊ばば十和田、歩きや奥入瀬……

青森 村上れふ子

第 49 回日本女医会総会は 5 月 14 日の前夜祭、15 日の総会、懇親会と無事盛況に終了しました。

4 コースが設定されたエキスカッションは 16 日朝 9 時、同時に出発しました。私は青森市内・十和田湖観光ツアーに参加しました。市内は 1 日コースと重複しますので、割愛しました。

私たちは 13 名で、ねぶたの里で 1 日コースの車と別れ、一路十和田湖八幡平国立公園へと向かいました。広大な芝生の高原である萱野茶屋で小休止。店の前には「1 杯飲むと 3 年、2 杯で 6 年、3 杯で死ぬまで長生きする」お茶が提供されており、なかなかの人気でした。次いで八甲田山雪中行軍記念館（鹿鳴庵）と、近くの高台に建ち悲劇を物語っている後藤伍長の銅像に寄りました。ここより今夜の宿、八甲田ホテルへと向かいます。国民宿舎酸ヶ湯温泉の周辺はブナの芽吹きで黄緑にかすんでいました。間もなく到着。堂々としたログ造りで、内部も木目美しい巨大な木材建築、静寂で暖かく包み込む雰囲気でした。周辺はブナの自然林で残雪もあり、芽吹はまだの様子でした。高級感あふれるメインレストランでのディナーは、青森の山海の幸、十和田牛、さらにオーナー差入れのワインで、会話は弾み、和やかに交流し、素晴らしき夜となりました。

翌 17 日、玄関の正面に北八甲田の山並が望めました。9 時、十和田湖に向け出発。傘松峠周辺は雪があり朝靄が立ち、墨絵のようでした。峠を下ると新緑燃えるブナのトンネルを通ります。紀行作家大町桂月が「住ま^{ひのもと}ば日本遊ばば十和田歩きや奥入瀬三里半」と詠んだことは有名です。奥入瀬の流れは悠々と、ときには激しく岩を打ち、別名瀑布街道とも呼ばれているように、右に左にたくさんの滝が眺められました。白糸の滝から銚子大滝までは歩きました。美しく太陽に輝く新緑は水面を染め、私たち

の身も心も染められるようでした。アカヤシオやイチリンソウを愛で、楽しい会話に時間を忘れ、子の口発 11 時の遊覧船にようやく間に合い、1 時間の湖上の旅を満喫できました。休屋で下船し記念撮影。昼食は十和田湖のヒメマス、季節の郷土料理が好評でした。小雨の湖畔を乙女の像まで散策しました。雨足が強くなり早々に青森と八戸への 2 台のバスに分乗。2 日間の青森の美しい自然と遠来の先生方との交流をみやげにお別れいたしました。参加いただきました諸先生ありがとうございました。

仏ヶ浦と恐山の下北半島ツアー

人と自然の関わりを学んで

埼玉 深井登起子

私たち一行 10 名の下北半島ツアーは地元の前田慶子支部長と八戸の金田八重子先生のお世話になり、これからの旅の期待に胸はずませてホテルを出発した。青森市街を抜けしばらく行くと、突然、黄色いじゅうたんを敷きつめたような景観が広がる。横浜町の菜の花フェスティバル会場である。140 ヘクタールの畑の二毛作にナタネが作られ、東京ドーム 30 個分の広さの一面黄色、とにかく見事というほかない。早速バスを降りて満開の菜の花畑のなかに入り、花をいためないように注意しながら写真を撮った。それぞれの顔が金色にかがやき、往年の美女が若さをとりもどした瞬間であった。会場整理係のおじさんが、埼玉県戸田市の出身だと聞いてびっくり、日本は狭いナァ。風力発電の大きなプロペラがゆったりとまわっているのがいかにものどかな北国の春を感じる。

バスはひたすら下北半島を北上し、北緯 41 度 33 分本州最北端大間崎岬に到着した。碑をバックに皆で記念撮影。沖合には灯台が見え、後方に北海道の山々が望まれた。ここはマグロの一本釣りで有名。左側にマグロ。右側に漁師のたくましい腕がのびている巨大なモニュメントのところで写真を撮った。前田先生の、にこやかな立姿がステキ。総会を終えられ、ホッと一息という感じが出ている。お昼は、もちろんマグロ丼。バラの花びらのように並べられている赤マグロは、絶品で一同大満足であった。

午後は国道 338 号を走り、佐井というところから観光船に乗り、仏ヶ浦に到着。お天気次第で船が欠船のことが多いそうで今回はラッキーであった。白い岩肌の奇岩がそそり立ち、観光客はわれわれだけ

だったので静かでやや神秘的な感じさえした。形状により菩薩岩などの名前がつけられている。

今夜は薬研温泉泊り。ヒバの香る内湯と溪谷沿いの露天風呂でゆっくりと疲れをいやした。浴槽に入れて香りを楽しむヒバ玉があったが、私はヒバのまな板 2 枚を求めた。

翌日は、いよいよこの旅のメイン、恐山詣り。こわさと見たさの入り混った複雑な思いであったが、意外と明かるいのでホッとした。日本三大霊場の一つで、慈覚大師が唐で修行中、夢のお告げにより作られた霊峰である。死者の霊を呼びもどすというイタコは大祭や秋詣りでないと会えないそうだ。少し残念な気がした。山門をくぐり、三途の川をわたり白いゴツゴツした岩山の上をお互いに注意しながら歩きまわった。赤いよだれかけをしている子どもの

お地蔵さまが可愛らしかったが、亡き吾子の名前を書いた木札が痛々しい。残してきた末期患者の延命を祈る人もいた。非現実的な場所を離れ、最終コースを逆もどり。六ヶ所村にある原燃サイクル施設で、きびしい現実と直面し、原子物理学のにわか勉強。赤いスーツの美人ガイドさんから映像を使ってわかりやすく説明を受け、日常知らないでいる分野について見識を深めることができた。今回のツアーは、人間と自然のかかわりについて、歴史、地理、生物、物理を学びながら美味しいものもいただき大変有意義な旅であった。前田先生をはじめとする青森支部の先生方に心から感謝申し上げ、まことにつたない文ですがせいいっぱい書かせていただいた。ありがとうございました。

総会講演会
女性のための皮膚科学講座
光老化最前線
弘前大学医学部皮膚科
花田勝美

いつまでも健康で、かつ、美しくありたいのは誰しもが願うところである。老化を止めることはできないが遅らせることは可能である。とくに、皮膚では慢性の紫外線曝露の結果引き起こされる光老化の元凶が明らかであるので、予防もある程度可能である。そこで、今回は光老化の機序に関する最新情報と治療法について述べた。

<紫外線を見る> 紫外線は可視光線に近いが眼に見えない。光エネルギーはわずかに 6% に過ぎないが皮膚にはこれを吸収するクロモフォアが存在し、生物学的影響は最も大きい。

<スキントypes> 紫外線に対する感受性の異なるスキントypesが存在し、東北では紫外線障害を受けやすいタイプがおよそ 1/3 みられ、光老化に陥りやすい。

<光老化 vs 自然老化> 両者の臨床像・組織像の違いを述べた。前者は露出部（かお）にみられる深いシワとしみに代表されるのに対して、後者は被服部（おしり）にみられる萎縮性の皮膚に代表される。日光に曝露されない皮膚は何歳になっても若々しい。シワ形成にはコラーゲン線維分解に伴う代償性のエラストーシスが関与する。分子生物学的解明も著しく、転写活性因子（AP-1、NF-κB）によるコラーゲン線維の分解酵素（MMPs）活性の機序を

概説した。

多彩な皮膚癌も紫外線が元凶となり、多くは露出部に限局する。日焼けの紫外線（UVB）は直接 DNA に障害（チミンダイマー形成）を与えうる。障害修復の余裕をもたらしてくれる P53 の変異も紫外線により惹起されるが、紫外線誘導の活性酸素・フリーラジカルによる DNA 障害が重要視される。

これまで安全とされてきた長波長紫外線（UVA）も光感作物質の存在下で DNA の酸化（グアニン酸化）をきたすことが知られてきた。紫外線がメラノサイトを活性化する機序の解明も進んでおり、併せて概説した。

<光老化の回復> レーザー治療の現状、最近の美白剤に加えて、転ばぬ先の杖であるサンスクリーンの使用年齢について触れた。母子手帳やスポック博士の育児書からは「日光浴」の文字が消えた。将来の皮膚や眼の障害を少なくするためにも、ご父兄や学校における啓蒙が必要である。石坂洋次郎の碑文に下記の記載がある。日光照射量の少ない北国の誇れる点かもしれない。

物は乏しいが空は青く雪は白く、林檎は赤く、女達は美しい国、それが津軽だ。私の日々はそこで過ごされ、私の夢はそこで育まれた。（石坂洋次郎）

社団法人日本女医会定時評議員会議事録

日時 平成 16 年 5 月 15 日 (土)
場所 ホテル青森 (青森市堤町 1 丁目 1-23)
午前 10 時 04 分開会
司会 角田由美子

社団法人日本女医会総会開催に際し
会員数 99 名
出席数 39 名
記名委任数 25 名
白紙委任数 9 名
以上のとおり日本女医会定款第 27 条の定足数 20
名に達し、総会が成立する旨の報告あり、開会を宣す。

会長挨拶

橋本葉子

報告

1. 会務および事業報告 鹿田儀子
配布ずみの資料にもとづき報告
2. 平成 16 年度特別会計報告 森川由紀子
吉岡弥生賞基金会計
国際女医会議記念事業基金会計
以上について配布ずみの資料にもとづき報告
3. ナショナルコーディネーター報告 平敷淳子
4. 次期及び次々期開催地に関する報告 橋本葉子
次期開催地は愛知県、次々期開催地は東京都との報告

小田宮城支部長より「100 周年記念事業基金・支出の部、その他の内容」について質問があった。今後は「その他」とはせず、詳細を明記する。

議長選出

秋葉則子 [議長団、議長団席に着席]

議事録署名人選出

大竹輝子、金子ミサヲ

議事

第 1 号議案

- 1) 平成 15 年度一般会計収支計算書案 (案) 船越由美子
配布ずみの資料にもとづき報告

▲ 原案どおり可決

- 2) 剰余金処分案 船越由美子
▲ 次期会計へ繰り越すことを原案どおり可決
会計監査報告 川田喜代子

▲ 監査の結果適法かつ正確であることを認める旨の報告、承認される。

第 2 号議案

平成 16 年度事業計画案

庶務部

会員増加推進

吉岡弥生賞の募集

ブロック別懇談会の開催

学術部

研究助成

学術講演研修会を年数回開催

「卒後 10 ～ 15 年医師の労働環境と健康に関する調査」のアンケート結果を国際女医会議で発表予定

事業部

全国公募による公開講演会の援助

荻野吟子賞、地域功労賞の決定と授与

地域医療奉仕活動への助成

社会保険新報社への原稿協力：月刊「いきいき」に健康記事掲載

講習会等の事業実施

災害、緊急時行動

バザー、親睦活動による事業

ホームページの更新と活用

厚生労働省「健やか親子 21 推進協議会」の協力団体として活動

渉外部

国内各団体との交流

国際交流

他団体との公開講演会の開催

国連 NGO 国内婦人委員会として活動

女性の異業種団体との交流

マスコミへの働きかけ

その他

広報部

機関紙の発行

第 26 回国際女医会議組織委員会

2004 年、第 26 回国際女医会議開催に向けての諸活動

子育て支援委員会

「十代の性と健康」指導者養成講座を 2 回開催予定

その他

独立行政法人・福祉医療機構より助成を受け「働く女性のための育児環境整備支援事業」を行う予定

▲ 以上原案どおり可決

第 3 号議案

平成 16 年度一般会計収支予算案

濱田啓子

▲ 原案どおり可決

第 4 号議案

定款改正の件

橋本葉子

▲ 厚生労働省の指導の下、詳細については理事会に一任で可決

< 質問 >

・小田宮城部長より「事業費・荻野吟子賞の予算が 15 年度、16 年度共に何故ゼロになっているか」質問があった。会計担当森川理事より昨年 12 月 25 日までに申し込みがなかったため、予算に計上しなかったとの説明があったが「予算に載せていないために事業が行われ

ていないと誤解を招く」との意見もあり、総会で誤解のないように説明する。

・中野愛知支部長より国際女医会議の財政的な質問があり、平敷理事が現在までの企業からの寄付状況を説明し、収入内で開催できる見込みとの発言があった。

また昨年来の国際女医会関係費・支出に関する説明があった。

・中原文京支部長より「定款改正の内、第 27 条（総会の定足数および表決数）に関する質問があり、会長が回答した。

閉会の辞

鹿田儀子

午前 11 時 49 分開会

第 23 回 日本女医学会学術助成報告

肝臓への気泡の取り込みを利用した 類洞イメージングの基礎的・臨床的検討

東京医科大学 飯島尋子

肝腫瘍性病変における臨床的検討

【目的】我が国におけるウイルス性特に C 型肝炎による発癌は大きな社会的問題である。従って、それが原因となる肝癌の分化度と肝内進展の正確な診断は、肝癌の治療成績を向上させ、QOL を向上させるために必須である。近年造影超音波が臨床応用され、肝癌診療の中でのその位置づけが議論されている。私たちは、これまで微小気泡造影剤が血中から、肝臓・脾臓などの網内系臓器に移行した後のいわゆる類洞イメージについて報告してきた。今回、臨床的には、肝腫瘍性疾患を対象としその造影の状態を検討した。また基礎的研究では、ラット肝を用い、網内系への気泡の取り込みの様式を検討した。

【方法】延べ 1700 例の肝臓の造影超音波検査を行った。腫瘍性疾患の造影 1350 例、びまん性疾患の造影 350 例であった。すべての症例において、Levovist 静注 5 分後の delayed imaging を得た。

【結果】腫瘍性疾患では、転移性肝癌はほぼ完全な陰影欠損となる。肝細胞癌では 2cm 以下の中分化肝細胞癌は完全 defect となることが多い。しかし 2cm 以上の大きさの中分化型肝細胞癌では、Levovist の取り込みは不均一である。高分化肝癌では気泡の取り込みが見られる。2cm を超える肝細胞癌では、ほとんどの結節で不均一な気泡の取り込みがある。

【考察】Levovist の類洞イメージは、Kupffer 細胞への貪食をイメージ化するといわれている SPIO-MRI との対比を行うと、取り込みの程度や不均一取り込みは近似していた。このことから、Levovist の類洞イメージと Kupffer 細胞の気泡貪食と関連が強い。びまん性肝疾患における検討

びまん性肝疾患の類洞機能の評価にも応用され得る。慢性肝炎・肝硬変へと進行するに従って気泡の取り込みは減少していき、消失速度も速くなる。近年注目されている非アルコール性脂肪性肝炎においては、peri-cellular fibrosis などの肝実質の病理的変化を反映して気泡の取り込みが著しく低下していることがわかった。

ラット肝を用いた基礎的検討

【目的】Levovist, Sonazoid, SonoVue, Imavist, Optison の in vitro の Kupffer 細胞への貪食を検討した。

【方法】単離培養したラットの Kupffer 細胞の上清中に造影剤溶液を入れ貪食の様子を位相差顕微鏡で観察した。気泡を貪食した Kupffer 細胞に超音波を照射した場合の形態的变化や、サイトカインの分泌能による細胞機能への影響を検討した。

【結果】貪食された気泡の崩壊する様子を位相差顕微鏡で観察すると、気泡は共振しながら径を減少してガスは細胞質に溶解・消失した。Sonazoid, Optison の順で Kupffer 細胞に貪食されるが、SonoVue, Imavist は全く貪食を受けない。また、Levovist も Kupffer 細胞に貪食された。貪食後の様子を経時的に観察すると、気泡は次第に消化され径を減じて消失する。Shell を持つ Sonzoid や Optison では shell が残り、Levovist では完全に消失する。

【結論】LPS 刺激下での Kupffer 細胞の IL6 や TNF α の分泌能は、貪食気泡の崩壊による影響で軽度低下するものの、超音波照射単独と差がなかった。

生体部分肝移植患者における 周術期栄養学的評価に関する研究

九州大学 萩田桂子

第 23 回日本女医学会学術研究助成を賜りましてから、早いもので一年以上が経過致しました。今回その研究経過報告をさせていただきます。

生体部分肝移植は、その侵襲の大きさと周術期の水分移動の大きさのため Body Composition (BC) の評価が非常に難しく、これまで周術期の評価を行った報告は見当たりません。今回我々

は、Multifrequency Bioelectrical Impedance Analysis (MFBIA) を用いて肝移植周術期の BC の評価を、年齢・体重別また疾患別に行いました。

対象は当院にて生体部分肝移植を行った症例で、そのうち体重 40kg 以上（中学生以上）の 22 名をグループ 1、40kg 未満（小学生以下）の 6 名をグループ 2 としました。BIA は多周波数方式の XITRON 4000C を使用し、術前、術直後、術後 1 日目から 7 日目まで毎日測定し、同時に体重を測定しました。

結果ですが、グループ 1 は平均 49.8 歳、術前平均体重 56.3kg でした。これを原疾患により、劇症肝炎群（F 群：n=6）とその他の疾患群（O 群：n=16）に分けました。全体では、体重は術後 2 日目に最大値 $58.6 \pm 8.2\text{kg}$ となり、以後漸減しました。細胞外液抵抗 Recf (Ohm) は術前 512.5 ± 89.8 から減少し 2 日目に最低値 377.9 ± 56.9 となり以後漸増しました。細胞外液量 ECF (L) は術前 15.8 ± 3.8 から 2 日目に最大値 17.9 ± 4.2 をとり以後漸減しました。疾患群による比較では、O 群が F 群に比べ Recf、ECF とともに術後 7 日目における回復率が低値を示しました。

続いてグループ 2 は平均 3.1 歳、術前平均体重 12.9kg でした。体重は術前に比べ術直後が 132.0%、術後 1 日目が 132.7% とほぼ同じ値で最大値をとり、

以後漸減しました。Recf (Ohm) は術前 714.5 ± 95.4 であり術直後に最低値 605.3 ± 65.9 となり以後漸増しました。ECF (L) は術前に比べ術直後が 112.4% で最大値をとり、以後漸減しました。

以上の結果より、考察として、グループ 1、2 とともに体重・ECF・Recf との間に相関関係を認め、MFBIA により周術期水分移動の推移を鋭敏に評価できると考えられました。グループ 1 では術後 2 日目に体重・ECF は最大値、同時に Recf は最低値であったのに対し、グループ 2 では術直後にピークがみられ、年齢・体重による明らかな差が見られました。また慢性的経過をたどる疾患群と急性疾患群との間に、水分移動の推移の差があることが示唆されました。

我々は以上の結果をもとに、肝移植後の水分管理を行っており、更に今後も研究を継続し、より厳密、鋭敏な肝移植周術期の輸液管理ができるよう研究を发展させていきたいと思っております。

最後になりましたが、日本女医会会長の橋本葉子先生をはじめ、選考委員の先生方、また九州大学小児外科学教室にて御指導を賜っておりました水田祥代教授に心より深謝致しますとともに、今後とも宜しく御指導、御鞭撻の程、お願い申し上げたいと存じます。ありがとうございました。




NOVARTIS

THE ARB DIOVAN



選択的AT₁受容体ブロッカー

ディオバン錠

160mg
80mg
40mg

指定医薬品 要指示医薬品 注意 - 医師等の処方せん・指示により使用すること

DIOVAN バルサルタン錠

薬価基準収載

● 禁忌、効能・効果、用法・用量、使用上の注意については、製品添付文書をご覧ください。



ディオバン錠 160mg 新発売

NOVARTIS DIRECT

0120-003-293

受付時間：月～金 9:00～18:00

www.diovan.jp

製造：日本チバガイギー株式会社

販売 **ノバルティス ファーマ 株式会社**

東京都港区西麻布4-17-30 〒106-8618

(資料請求先)

NOVARTIS DIRECT

0120-003-293

受付時間：月～金 9:00～18:00

www.diovan.jp

2004年12月作成

活動報告①

第 59 回国連総会に出席して

国際社会で働く意味を考えながら

理事 平敷淳子

この度、第 59 回国連総会日本政府代表代理として、内閣より辞令が交付され、国連総会に出席させていただきました。国連日本代表本部の No.4 として、上に大使 3 名、すぐ下に公使 1 名の間に位置づけられていました。

日本女医会は国連 NGO 国内婦人委員会に属しており、橋本葉子会長のご推薦を受け、国連 NGO 国内婦人委員会から外務省に代表候補として推薦されました。この組織は過去 47 年間、毎年 NGO を国連総会に送っています。古くは故人となられた女性活動家の藤田たき氏や市川房枝氏。1975 年には緒方貞子氏もこの任務をつとめておられます。日本女医会名誉会長山崎倫子先生も大学婦人協会のご推薦で 3 期 3 年間の重責を過去に果たされています。

国連はイーストリバーを背にしてマンハッタン 42 丁目から 48 丁目に聳え立っています。加盟国は 191 カ国。私は 6 つある主要委員会の第 3 委員会に属し、社会・人権、難民、文化を主眼として、総論、各論、方略の決定などに参加してまいりました。キーワードは globalization、human and money trafficking、drug trafficking、women's right and children's right HIV/AIDS、難民、民族自決権などです。議題ごとに特別報道官や高等弁務官による総論があり、つづいて質疑と各国からの statement が発表されるという formation でした。私も 3 回 statement を述べさせていただきました。総会の序盤に日本は安全保障理事会の非常任理事国に加盟でき、現地の日本政府代表部の方々のお喜びはことのほか大きいものでした。

議場は、アルファベット順に明記された一国一名の席です。各国の席のすぐ後ろには、予備の 1 席が設けられており、この 2 席に同時通訳の設備があります。ちなみに公用語は英語、フランス語、スペイン語、中国語、アラビア語、ロシア語の 6 ケ国語で、議場の後ろには広い同時通訳のブースがあります。全体に響き渡るマイクはなく、すべてイヤホンで聞きます。

アナン国連事務総長は今期の冒頭演説に国連の re-vitalization を掲げられました。築 50 年になる建物の内部は薄暗く、コンピュータを主体とするデジ

タル対応も悪く、しかも全て紙のアナログ社会となると事務総長の掲げた本年の主題もわかります。

EU はともかく、G-7 + China、GIO group、CARI-COM などなど、経済・地域・宗教等から集団で意見を言うことにも気づきました。多くの国を加勢して意見をいう、数は力なりも感じますが、日本には「お友達」がいません。真剣に国際社会で働く意味を考えながら、任務を務めてまいりました。

各国の statement を静かに聴いていると、突き詰めるところ、ひとつの事柄だけをとりあげて解決できる問題は何もなく、すべてが、薦がからむように関連していることがよく分かります。かつ一国の問題ではなく、世界全体の問題であることもよくわかります。麻薬の問題では需要国に対する、供給国、その流通に関連する国と際限のない広がりを感じます。加えて最近の high technology、digital technology が問題をより一層複雑にしており、インターネットを通して煽動の激しい昨今を digital abuse として問題視していました。

私自身も、国際女医会 (MWIA) 次期会長として、国連と MWIA との関係の輪は国連にいただけで大きく広がりました。

活動報告②

カンボジアの寒村に小さな学校を贈る

貧困を見た者の努めとして

理事 角田由美子

平成 15 年 12 月、私の寄付した学校が 9 カ月の工期を経て、いよいよ完成し、夫や「21 世紀のカンボジアを支援する会」の仲間とともに、その開校式に参加した。

プレイベーン県ピアムチョウ郡サンボウミアス村の小学校は、プノンペンの東南約 200km、ベトナム



開校式で壇上からあいさつ



左・幅広の布に少しずつ鋏を入れてテープカット
右・生徒1人1人に文房具入りの袋を手渡す

との国境近くのメコン河の支流沿いにあり、ベトナム戦争時には米国のカンボジア侵攻で多大な被害を被った場所、雨期には水害に見舞われることもたびたび、といった地域にあった。

今まで、1,500 名もの小、中学生たちは、老朽化が激しく雨漏りのする古い木造トタン屋根の校舎で、三部授業で勉強していたという。

開校式当日、われわれはプノンペンからバスで約 1 時間走った後、モーターボートに分乗して約 1 時間メコン河を下り、次いで 1 人ずつがバイクタクシーに跨って数分走りやっと目的地に着いた。炎天下皆汗だくだった。

学校では約 2,000 名もの村人たちが総出でわれわれを待っていてくれた。高学年の生徒たちはきちんと整列して。われわれはホッとする間もなく人垣の拍手のなか、運動場に作られた 10 畳ほどの壇上に案内され、待ち構えていた数名の僧侶たちによる読経を受けた。

さっそく開校式典の始まりである。まずプレイベン県知事の挨拶があったが、これが長い。村人がこれだけ集まることはあまりないので、ここぞとばかりに自己宣伝もされていたようだ。次いでプノンペンから同行したカンボジア政府観光省副大臣ヌッツ氏の挨拶があり、政府からのアンコールワットを型どった勳章を頂いた。私も、しっかり勉強して国内だけでなく海外でも大いに活躍できる人になって欲しい、と短いスピーチをした。

次いでテープカット。日本と違い、幅広い布に関係者たちが少しずつ鋏を入れてゆき、最後に私が切り離れた。新しい校舎に入り書類にサインし、マンゴーの苗木を 5 本植樹してセレモニーは終わった。マンゴーは 5 年も経てば実をつけるとのこと、村人たちからはリボンで飾られた大きな箱をお土産にいただいた。

校舎の正面に大きく、また机の 1 つ 1 つに Donated by Dr. Tsunoda Yumiko と書かれている。面映ゆいがここでは皆そうすること、ほかに井戸を 1 基と 4 つのブースがあるトイレを寄贈した。

集まった子供たち 1 人 1 人に袋詰めした文房具を手渡し、集合写真を撮り、参加したメンバーによる人形劇や卓球での交流、また持参したゴム飛び、折り紙、そのほかさまざまな遊具で子供たちと遊んだ。

帰りは村の有志が牛車を出してくれて、何台もの牛車にゆっくり揺られて河岸まで、正にスローライフ。牛車はそのまま河に入り、われわれは再びモーターボートに乗り移り、メコン河を逆上って、3 時間かけてプノンペンに帰った。頂いたお土産は、正に開けてびっくり。大きな箱に魚の干物が一杯。

カンボジアの教育制度は、日本と同じ六三三制で、中学校までは義務教育だが、6 歳で就学できない子供も多く、同学年内での年齢はまちまちである。農村部では労働力として使われて途中で通学できなくなる子供も多いようである。教師の月給は 20 ～ 30US ドルとのことで、そのあまりの安さに驚かされた。先生方は、2 部、3 部授業をこなした後で、生活費のためにバイクタクシーをやっているとも聞く。

私がカンボジアにかかわったのは、数年前にアンコールワットを訪れて、その国の貧しさに心を痛めていたところ、ある新聞の片隅に、“カンボジアの恵まれない子供たちに文房具を贈ろう” という NPO 法人「21 世紀のカンボジアを支援する会」の呼びかけを見てからである。さっそくその声に応じて医師会仲間にはかり、文房具を集めた。この会では、全国から集まった文房具を小分けしてカンボジアに送り、日本からメンバーが直接学校まで出向いて生徒 1 人 1 人に手渡している。このツアーも、今冬で 10 回目を迎えた。里親も募って、現在 100 名ほどの生徒が支援を受けている。ほかに製縫技術を教える職業訓練や巡回診療などを、現地のアドバイザーの手を借りて行っている。学校も現在 4 校が完成した。

われわれの手でできる支援は、この国一国だけに限ってみても、ほんの片隅の少しの手助けにしか過ぎないが、見てしまった者の務めとして、細々でも何らかの支援を続けてゆきたいと願っている。主旨に賛同される方は、どうか会員になって下さい。



「通り過ぎる人」から半世紀余

秋田 榎 真美子

秋田駅から程近い緑地公園に「通り過ぎる人」という乙女のブロンズ像がある。太平洋戦争最中の昭和 20 年 4 月、医師不足にあった秋田県民の強い要望から設立され、奇しくも戦後の GHQ の政策で、昭和 22 年廃校になった秋田県立女子医学専門学校（以下、県立女子医専）の跡地である。この乙女は、医学を志した少女の姿である。

女医会の広報部から大学紹介の原稿依頼を受け、母校秋田大学について、会員のみなさまに紹介する機会を与えられた。振り返るに、団塊ジュニアの私が医学生だったとき、すでに秋田大学は、女子学生の割合が 30% ほど、女性ゆえの困難に怯えることはあっても、それは医学を続けることが前提の悩みであった。

一方、県立女子医専は、開学からわずか 2 年での廃校、原因不明の失火による校舎の焼失。時代の抱える背景から、多くの在學生は、無念かな、家庭の人となっている。その中で、導くものがあつたのか、全国の医学部、医専に編入し、その後の医療を支えた先達が、昭和 45 年の秋田大学医学部設立の“灯火”となったことを知る。

グライ・ラマは「人間に最後に残る苦しみは空腹だけである」と言う。当時、女子がひとり生家を離れ、その 3 度の飯どうやって賄ったのだろう。

それから 23 年後の昭和 45 年の秋田大学医学部設立は、当時の政府の「一県一医学部構想」の第一号である。現在も秋田県は、がんの死亡率第一位、自殺率第一位と、一体我々は何をやっているのだろうと無力感に見舞われるが、当時の状況は一体どういうものであつたのか。それは、恐らく日本の地方が同じように抱えた問題であつたと思う。そこへ、念願の医学部設立。当時の様子は、医師であり直木賞作家南木佳士（2 期生）「医学生」に詳しい。「医学生」の秋田大学には裏日本ゆえの払拭できない暗さが漂う。しかし、医学を続ける条件のひとつに「明るさ」があると思う。「明るさ」が時に困難を乗り越える。そんな卒業生の多くは、その後、秋田県内はじめ全国各地で臨床医として活躍。秋田県においては、初めての医師配置であつたりした例が多くあつたという。そして、私たちが医学生だった頃には、教育の

面でも重要な役割を担っていた。大学の歴史は浅いながらも、やればできることを示してくれる先輩の存在が、その時は気がつかずとも、どれだけの力になることか。それを知ったとき、先輩のいなかった 1 期生たちの苦勞に頭が下がるのである。

時代が変わっても、違った困難さは必ずある。平成 16 年 4 月に国立大学病院の独立行政法人化が行われ、医学部の存在を危ぶむ声がどこからともなく聞こえてくる。どんな存在も変化を避けることはできない運命だ。医師配置がほぼ叶いつつあり、同時に人々の移動が当たり前になった今、我々に求められるのは、医療の“quality”であることは明確だ。

「通り過ぎる人」のブロンズ像を前に、かつて医学を志して通り過ぎた乙女たちを思い、どんな変化がやってきても、その志を忘れずにいたいと強く心に誓う。

なお、秋田県立女子医専についての貴重な資料は、女医会の先輩である金子ミサヲ先生（秋田県立女子医専 2 期生、その後新潟医専へ編入）に頂戴した。当時を残すものは、手を尽くし探してみたが、先生の所有する数枚のコピーだけであつた。新聞社、図書館にあるマイクロフィルムの保存状態もそのコピーを超えるものではなかった。

最後に残るのは、人の記憶である。



新しい非日常の試みを

京都支部 石川知子

やわらいだ寒さの冬でも、春を待つ日曜日。昨年 3 月、古都の風情を伝える京都・東山の高台に佇む、ウェスティン都ホテル京都で支部会を開催いたしました。以前にもこの会に出席して頂いた先生方にもご案内を致しましたところ、22 名の参加を頂きました。壁一面に広がる窓から北山に連なる豊かな緑を一望におさめることができる「鳳凰の間」で、「皮



宮地良樹教授を囲んで

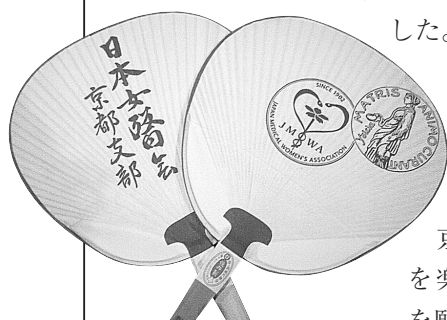


ステファン・ダバザックさんと一緒に

膚の若返り」という、とっても興味あるタイトルで京都大学皮膚科教授宮地良樹先生にご講演頂きました。

講演後は次から次へと質問が多く、参加してよかったとの声をお聞かせ頂いて、主催者として嬉しく思いました。その後は宮地先生を囲んで、写真撮影を致しました。

懇親会は、三段の滝の雄大な回遊式庭園に面した「稔りの間」で、有名シェフ水野総料理長アレンジのおしゃれなフランス料理を楽しみました。デザートは特別にティールーム「メイフェア」のスイーツ名人、ステファン・ダバザックさんをお願いしました。かわいい旬のフルーツを使ったスイーツを頂きながら、若くてチャーミングな女性シャンソン歌手の歌を聞き、その後は「大きな古時計」を一緒に唱和しました。「百万本のバラ」の歌と共にバラの花束の福引きで楽しい時を過ごしました。ステファンさんご自慢のオレンジピールのスイーツと国際女医会・日本女医会のシンボルマークのはいった京都支部の京丸うちわをお土産に、今年 3 月 6 日の日曜日の再会を楽しみに再開としました。



お土産の京丸うちわ

3 月にはブロック会を京都支部会と共催でさせて頂くことになりました。どうぞ、京都で「非日常の世界」を楽しみに来て頂くことを願っております。

指さして 雪大文字 茜さす

杏子

書 評

医師ヘボンとその時代

小田泰子 著
丸善仙台出版センター

理事 山本蒔子

著者の小田泰子先生は、昨年まで宮城県女医会長を務められた。宮城県女医会長をされていた時期に、

先生は新設された東北大学大学院・国際文化研究科に 1993 年に入学、1998 年には大学院を修了され国際文化博士の第 1 号となった。北海道大学医学部を 1959 年にご卒業し、眼科医として長く医療に携わり、そして大学卒業後の 34 年目にして、新たな学問の分野を目指すその意気にまず感心させられた。

大学院修了時の論文をまとめて、1999 年には『種痘に見る医の倫理』を東北大出版会から出版された。今回の著書は先生の大学院における研究の成果から産まれた 2 冊目の著書である。

私はヘボンの名前は中学生の時に習ったローマ字にヘボン式とあったことが記憶にある程度で、ヘボンが医師であることは全く知らなかった。小田先生がどうしてヘボンを研究しようと思われたのかはハッキリしないが、おそらく先生がクリスチャンである事と関係があるのかと推測している。

ヘボンは今までの安定した医師の生活を捨て、壮年期の 44 歳時に日本へのキリスト教伝道の志を抱き、1859 年（安政 6 年）にニューヨークを後にしている。幕末から明治にかけての日本が近代化を遂げる混迷の時期であった。

ヘボンは日本に受け入れられるために、施療院を開設し多くの人々の治療にあたった。患者の 1 人である歌舞伎役者の女形、澤村田之助が右足脱疽の手術を受けている版画が著書の表紙に使われているのは、とても良いアイディアと感心した。ヘボンに学ぼうと集まってきた若い医師群を育てる事によって、ヘボンの教えがいかに生かされたかが伝えられている。

ヘボンは 1866 年（慶応 2 年）和英辞典『和英語林集成』を作った。日本語をローマ字とカタカナと漢字で示しているため、日本語を学ぼうとする外国人にも英語を学ぼうとする日本人にも大い役立つものであった。

33 年間を日本に過ごし、78 歳でアメリカへ帰るまで、事情のわからない異国で、医学、辞書製作、聖書の翻訳などの仕事を次々と成し遂げている。本書を通じてぜひ皆様にも、多くの人達に慕われたヘボン博士の人生を知って欲しいと思う。



新潟県中越地震災害義援金とボランティア基金について

会計部 森川由紀子

平成 16 年 10 月 23 日にご存じのように新潟県中越地方に大地震が発生し、たくさんの被害が出ました。橋本会長から緊急動議を受けて理事一同審議の結果、10 月 28 日日本女医会ボランティア基金より 50 万円を新潟県災害対策本部宛に送金致しました。引き続き会員の皆様へ募金のご協力をお願い致しましたところ、以下の通り、たくさんの方々のご協力を戴きました。

締め切りの 11 月 20 日までに入金された 1,635,000 円から 100 万円を追加義援金として日本赤十字社に送金させていただき、残金は期日を過ぎてからお振り込み戴きました分と併せてボランティア基金に組み入れさせて戴きました。

ボランティア基金とは？

日本女医会では会員の皆様のご協力を得て、各地に災害が発生致しました折には種類や規模に応じたボランティア活動を行っています。平成 10 年に発生した阪神淡路大震災・パプアニューギニア救援金の残金 1,510,294 円で災害時のための基金ができました。

その後平成 11 年トルコ地震：30 万円、平成 12 年愛知水害見舞金：5 万円、今回新潟へ取り敢えず 50 万の送金が可能でした。(内訳平成 16 年 10 月現在：882,178 円 +585,000 円→ 1,467,178 円) ご協力有難うございました。

新潟中越地震義援金寄付者一覧

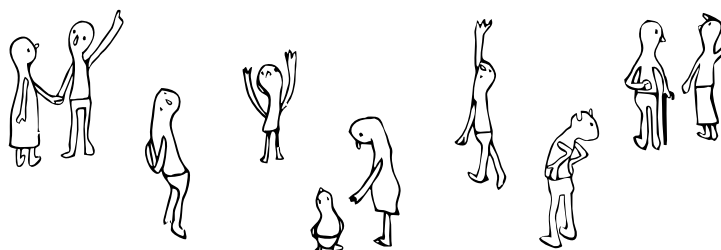
相原 村子	鳥取	岡野 照美	長野	斉藤 啓子	新宿	遠山 杏子	長崎	藤塚 誠子	埼玉
青井 禮子	葛飾	岡本 和子	杉並	栄枝三佐子	神奈川	歳弘真貴子	岩手	藤戸 せつ	高知
青木 正美	中央	小川 正子	埼玉	坂口 潤子	静岡	戸塚 俊子	群馬	洲之上真澄	杉並
青森支部	青森	小川 麻子	愛知	笹川美年子	大阪 9	戸塚 陽子	群馬	星加 光江	愛媛
赤塚 智香	江東	奥山 春枝	北海道	佐々木道子	神奈川	富井 純子	神奈川	発地瑠璃子	千葉
秋田支部	秋田	小倉 陽子	愛知	佐藤栄美子	新潟	富岡 瑞子	神奈川	堀口 雅子	千代田
秋濱 示江	埼玉	小栗貴美子	愛知	佐藤あいこ	岡山	富岡 レイ	静岡	堀野 雅子	千葉
足立 喬子	埼玉	長内 正子	目黒	佐藤 秋子	愛知	豊田 道子	長野	本間 明子	北海道
阿部 久代	青森	忍田 和子	葛飾	佐藤千代子	愛知	中内 玲子	埼玉	増田 とし	大阪 5
新井 裕子	千葉	織田 郁子	福岡	佐藤真紀子	愛知	中垣ひで子	愛知	升谷 靖子	広島
五十嵐いつ子	静岡	小田 泰子	宮城	佐分 妙	愛知	中島由美子	埼玉	松井久美子	神奈川
池 香子	都下東	小野 由子	学内	澤 トシ子	大阪 3	中島 桂子	杉並	松井ひろみ	目黒
石井 恭子	豊島	小幡 文子	都下東	鹿田 儀子	北	中西 綾子	愛知	松崎喜美枝	神奈川
石井 篤子	広島	柿添 瑠子	長崎	篠崎 妙子	千葉	永野 薫	新潟	松下富美子	大阪 3
石橋 純子	都下西	笠置真知子	愛媛	柴田 洋子	神奈川	中橋 光子	世田谷	松田 敬子	神奈川
石原 幸子	練馬	笠原 郁子	福岡	嶋崎紀代子	山梨	中濱 昌子	神奈川	松村 啓子	埼玉
市来フジエ	鹿児島	加次井育子	千葉	清水 洋子	宮城	中山 年子	中野	松本 章子	大阪 6
伊藤 千秋	豊島	梶山 純子	山口	清水五百子	都下東	南雲 君代	大田	三神 美和	都下東
伊藤かおり	愛知	片山真里子	福岡	白浜優美子	杉並	名取 静子	都下西	水野 綾子	宮城
稲生 襄	神奈川	桂 アグリ	群馬	白水 明代	福岡	西井 美子	兵庫	三橋 麗子	千葉
今井三四子	千葉	加藤 竺子	福岡	助村 房子	長崎	二村芙美江	港	峰野 澄子	愛知
今田 峰子	板橋	加藤 知子	北海道	鈴木 弓	群馬	野田 富子	香川	三村 圭美	神奈川
今本千衣子	北海道	加藤 光子	荒川	鈴木 政子	群馬	野々田宣子	都下東	都 もと子	足立
岩田 常子	大阪 4	加藤 晶子	愛知	鈴木 喜子	目黒	野間八重子	目黒	村田 郁	埼玉
上野 美代	山梨	加藤 玲子	宮城	鈴木 行子	山梨	橋川ふさ子	愛知	元山 妙子	千葉
内潟 安子	学内	金子ミサヲ	秋田	隅 初音	宮崎	橋本 葉子	学内	森川由紀子	足立
梅岡 智子	愛媛	苅谷 愛	愛知	関 静	中野	橋本美知子	大阪 10	諸井ミサヲ	佐賀
榎 真美子	秋田	川田喜代子	大阪 2	関根 みよ	埼玉	長谷川桂子	宮城	矢崎 宏子	神奈川
海老根伊佐子	江東	川田 仁子	港	瀬下由美子	都下東	長谷川厚世	埼玉	安田 洋子	目黒
及川 貞	兵庫	川村富美子	足立	高岡 英子	兵庫	長谷川幸子	愛知	保田 美江	港
大石 文恵	愛知	菊池 洋子	栃木	高須 梅代	愛知	秦 幸枝	島根	柳橋 京子	千葉
大河原キヨ	墨田	岸 よし	山形	高畑 豊子	大阪 4	濱田 雅	新宿	山下 知子	豊島
大河内和子	愛知	木下 利子	杉並	高柳 泰世	愛知	濱田 啓子	北海道	山住美津子	杉並
大澤真木子	学内	木下 晴美	佐賀	宝田 雅子	富山	濱田 幸江	北海道	山田 邦子	群馬
大澤 真里	学内	木村 俊子	愛知	滝川佐波子	岩手	早川 佳子	埼玉	山田三枝子	杉並
大島三女子	徳島	木村久美子	兵庫	竹内 和子	愛知	原 弥栄子	神奈川	山本 紘子	愛知
大竹 輝子	神奈川	倉科奈保子	文京	竹宮 孝子	学内	原 まさ子	神奈川	山本 節	山口
大谷 節子	群馬	小石多紀子	愛知	多田羅裕子	徳島	日向野ハツ子	栃木	山本眞由美	岐阜
大塚 貞子	都下西	小泉 蓉子	足立	田中十糸子	高知	松谷 鞠子	広島	行定 法子	埼玉
大西 用子	京都	古賀 詔子	宮城	田中 悦子	神奈川	平山玖美子	練馬	弓場 光子	大阪 7
大野 祐子	神奈川	小林 信子	愛知	谷合 方子	埼玉	広瀬 洋子	都下西	横越美佐子	富山
大場 幸子	宮城	五味 道子	愛知	長 芳枝	山口	深井 利花	埼玉	横瀬美年子	愛知
大橋和紀子	あいち	小宮山節子	足立	土川知香枝	静岡	桧山 緑	宮崎	横田 生子	新宿
大橋 鎮子	大田	子安 佳子	大阪 10	土屋ゆひ子	練馬	福島 淑子	群馬	吉崎喜美子	埼玉
大畑 信子	板橋	小山 咲子	神奈川	土屋 和子	神奈川	福田由美子	福島	吉住 幸子	埼玉
岡嶋 弥生	愛知	近藤キヌエ	都下東	土屋 臣子	荒川	福田千恵子	北	渡辺 静子	豊島
岡田 文恵	神奈川	今野 信子	新宿	角田由美子	練馬	福原恵比子	宮城	渡辺 政子	豊島
岡田 育子	福岡	今野 タイ	北海道	坪井るみ子	埼玉	藤岡 邦子	練馬	渡辺のり子	愛知
緒方 文江	佐賀	斉藤 英子	北海道	寺尾 敏子	熊本	藤岡ルリ子	静岡	渡辺 良子	大阪 5

うれしいを、つぎつぎと。

KIRIN

未来を拓く

ひら



本当に求められている「こと」や「もの」。
医療のニーズを正しく把握し、
バイオ技術の追究を通じて、夢を現実にしていく。
キリンは、新たな医療価値の創造に
全力で取り組んでいます。

キリンビール株式会社 医薬カンパニー 〒150-8011 東京都渋谷区神宮前 6丁目26番1号

(((理事会議事録)))

日時：平成 16 年 2 月 21 日(土)
午後 3 時 00 分

場所：(社)日本女医会会議室

出席者：加藤、大坪、古賀、斎藤、
澁谷、角田、中山、平敷、濱田、松
井、村田、森川、山崎(ト)、山崎(康)、
山本(續)、橋川 (以上 16 名)

欠席者：橋本、石原、鹿田、内潟、
澤口、船越、山本(蒔)、川田 (以上
8 名)

議題

1. 平成 16 年度事業計画案および予算案の件
2. 第 49 回定時総会の件
3. 地域医療奉仕活動への件
4. 国際女医会議財務からのお願い
5. 国際女医会議の件
6. その他
- ・ 会誌の件

1 月理事会議事録を承認

報告事項

1. 庶務報告 角田理事
別紙どおり報告、承認される
2. 会計報告 森川理事
平成 16 年 1 月分収支別紙どおり報告、
承認される
3. 各部報告
【庶務部】角田理事
5 月 15 日青森で開催の第 49 回定時
総会には現在の所 25 名の申し込み。
締め切りまで後 1 カ月あるが、理事多
数の出席を要請
【渉外部】松井理事
1 月 30 日、自由民主党主催「各種
団体との新年懇親会」と 2 月 20 日、
男女共同参画推進連携会議主催「EU
における科学技術政策と男女共同参
画、第 58 回国連総会第 3 委員会およ
び男女共同参画社会の将来像について
聞く会」に出席の報告
【広報部】大坪理事
会誌 178 号原稿を募集中
【平敷理事より】
2 月 11 日～18 日に開催された「日
本・中東女性交流」の報告

協議事項

1. 平成 16 年度事業計画案および予算案の件
各部より予算案が提出されていない
ので、まだ予算を立てられないが財
政的に厳しい状態が続いている。節
約を念頭に各部の予算案を早急に事
務局へ提出のこと。学術部は講演会
を 1 回開催で 40 万円の予算を提出。
2. 第 49 回定時総会の件
次回理事会で議題、次第、発表者

を決定する。

3. 地域医療奉仕活動への件

今年は申請がなし。最近申請がな
いので今後の在り方を事業部で検討
する。

4. 国際女医会議財務からのお願い

「理事の寄付は一口 5 万円として
何口でも可」を全員賛成で決定。ま
た、東京医薬品工業協会と大阪医薬
品協会に加盟していない薬品会社へ
個人的な寄付依頼をとの強い要請が
森川理事からあった。

5. 国際女医会議の件

配布の資料により平敷理事より説
明があった。

- ・ 東京医薬品工業協会と大阪医薬品協
会から 700 万円寄付の回答があった。

- ・ ランチョンセミナーの後援依頼中の
9 社の内、講師の謝礼・交通費・宿
泊費の負担を依頼中の企業がある。

- ・ 先日「日本女医会誌」に同封した寄
付依頼で会員より既に 100 万円以上
の寄付がある。

- ・ 開会式で全員が着席し緒方貞子氏が
登壇するまでの間にバイオリン演奏
(15 万円)を、との意見もある。

- ・ 演題は現在の所 40 題の申し込みが
あり日本からの演題は 4～5 題。

- ・ 3 月 17 日に Scientific committee を開
催。抄録の査読等の検討する予定。

- ・ 2 月 3 日開催した検討会で決定した
内容を資料により説明。また会議中
の各日・各理事の分担を確認する。

- ・ 病院見学へのエスコートのボラン
ティアを募集

- ・ 写真撮影は百周年の時に依頼した
「JMS」に依頼。百周年と同様に「J
MS」に特集を組んでもらう。費用
は広告企業を沢山紹介し最小限に止
める。DVD の制作も検討中。

- ・ パーティー関係は一括で京王プラザ
ホテルと話し合いをする。

- ・ 一般の早期と後期登録費の差が一万
円もあり、後期を 5 千円違いの 3 万
5 千円とする。

6. その他

- ・ 会誌の件

別紙見本組を検討した。①字の大
きさは 14 p ②ロゴは横付きで一回り
小さく ③巻頭言と名前の字も小さく
④発行日は平成ではなく西暦に⑤目
次の文字も本文と同様明朝体に、の
5 点を訂正し、次回理事会まで改め
て見本組を作ってもらい再検討する。
・ 後援依頼
5 団体より依頼があったが、「航
空労連連絡会」以外は賛成多数で名
義のみで許可する事に決定。

以上

日時：平成 16 年 3 月 13 日(土)
午後 3 時 00 分

場所：(社)日本女医会会議室

出席者：橋本、石原、鹿田、大坪、
古賀、澤口、澁谷角田、中山、船越、
平敷、濱田、松井、村田、森川、山
崎(ト)、山本(續)、山本(蒔) (以上
18 名)

欠席者：加藤、内潟、斎藤、山崎(康)、
川田、橋川 (以上 6 名)

議題

1. 定時評議員会、定時総会の件
2. 平成 16 年度事業計画案および予算案の件
3. 2004 年国際女医会議の件
4. その他
- ・ 会誌の件

2 月理事会議事録を承認

報告事項

1. 庶務報告 澁谷理事
別紙どおり報告、承認される
2. 会計報告 濱田理事
平成 16 年 2 月分収支別紙どおり
報告、承認される
3. 各部報告
【庶務部】角田理事
青森の総会出席者は現在の所 49
名、理事多数の出席を要請
【渉外部】松井理事
2 月 24 日「平成 15 年度厚生労働
科学研究所子どもが健やかに育つた
ために～手をつなぐ地域と家庭～」に出
席の報告
【広報部】山本(蒔)理事
会誌 178 号原稿の広報部会を 3 月
23 日に開催
【橋本会長より】
国立女性教育会館主催「女性研
究者ネットワーク支援のための懇談
会・第三回」に出席の報告

協議事項

1. 定時評議員会、定時総会の件
議題と報告事項と発表者を決定す
る。
会計：評議員会・総会とも決算＝
船越、予算＝濱田、特別会計＝森川
庶務：評議員司会＝角田、総会
司会＝澁谷
2. 平成 16 年度事業計画案および予算案の件
・ 会計部より本年度は次年度への繰越
金が非常に少なく、非常に逼迫した
財政状態との説明がある。
・ 「子育て委員会」の予算は一般会計
を圧迫しないよう「百周年記念事業
基金」より繰り入れる。
3. 2004 年国際女医会議の件
・ 抄録 現在の所 120 編集まっている。
・ 寄付 個人的に薬品会社へ依頼も
し、着々と集まっている。日本建設
業団体連合会から 30 万、会員から
は大口 3 名を除き 105 名より 237 万

4 千円。又本日、練馬支部より 20 万円の寄付があった。

- ・ 宮内庁関係
レセプションのみ 30 分位のご出席。国際女医会本部より 4 名、各地域での副会長、日本から数名謁見できる予定。全理事名を宮内庁へ提出する。
- ・ 開会式
国際女医会が主体である。招待者として小泉総理大臣、厚生労働大臣、日本医師会会長、東京都知事の 4 名を予定。
- ・ 送付された抄録のチェック、口頭発表・ポスター発表のやり方等を 3 月 17 日に開催される Scientific committee で検討する。委員が日本語訳をした抄録は会議当日に配布。
- ・ 各国より座長の希望が沢山あるが、日本からの推薦も要請。
- ・ 出席日が少ないために会費の減免希望もあったが、今回は煩雑防止のため特別考慮はしない。31 日の Gender Workshop は無料である。
- ・ 開会式は同時通訳が全てつく。無料のイヤフォンを貸し出す。
- ・ 各病院見学の担当者を決定する。(国立成育医療センター＝斎藤、東京女子医科大学＝澤口、国立がんセンター＝山本(蒔)、聖路加国際病院＝鹿田、ホスピタ三軒茶屋＝大坪、東京小児療育病院＝野澤・船越)

送迎バスは申込の人数が決まり次第、安価な方法を考える。

- ・ Gender Workshop は一般対象のためポスター作成の必要があるか否か、ICS を通じて関係各所に問い合わせる。
- ・ 資料の京王プラザホテル会場使用計画案を基に検討。出演者控え室を含めて能率的に会場を利用する。
- ・ congress bag にはピンバッチ、A4 判 レターヘッド付のメモ用紙、ボールペン、東京案内＋クーポン、記念品、アブストラクト(日本人には日本語版)、名札、申し込みのパーティー券などを入れる。
- ・ ガラパーティーの司会者は石原先生推薦の通訳の方に打診する。
- ・ 資料を参考に「現在の注意点」の説明があった。
- ・ 3 月 30 日、19 時 30 分より ICS を交え、実行予算検討会を開催する。多くの理事の出席を要請。
- ・ 4 月理事会後シミュレーション、6 月理事会後リハーサルを行う予定。
- 4. その他
・ 会誌の件
先月理事会で出された意見を基に作成された会誌の見本組を承認。また、7 月 25 日発行予定の会誌 179 号は国際女医会議終了後に「国際女医会議特集号」として 10 月 25 日発行予定の会誌 180 号との合併号とする。

・ 「ゆうゆう糖尿病」の件

6 月終刊が決定。2000 部発行しているが 400 部しか定期購読者がおらず、赤字を減少のために一冊でも多くの購買要請が鹿田副会長よりあった。

・ 国際女医会「50 年会員」に国際女医会議への参加をお誘いする。

以上

日時：平成 16 年 4 月 17 日(土)

午後 3 時 00 分

場所：(社)日本女医会会議室

出席者：橋本、石原、加藤、鹿田、大坪、古賀、澤口、澁谷、角田、平敷、濱田、村田、森川、山崎(ト)、山崎(康)、山本(續)、山本(蒔)、川田、橋川(以上 19 名)

欠席者：内潟、斎藤、中山、船越、松井(以上 5 名)

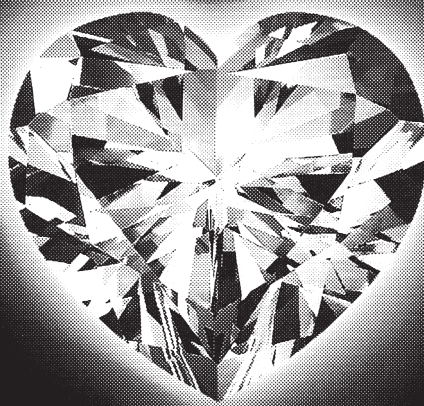
議題

1. 第 49 回定時総会の件
2. 2004 年国際女医会議の件
・ 広報部より
3. その他

3 月理事会議事録を承認

報告事項

1. 庶務報告 角田理事
別紙どおり報告、承認される
2. 会計報告 森川理事



BLOPRESS®

本剤の効能・効果、用法・用量、禁忌を含む
使用上の注意等は添付文書をご参照ください。

〔資料請求先〕
 **武田薬品工業株式会社**
 〒540-8645 大阪市中央区道修町四丁目1番1号
<http://www.takeda.co.jp/>

持続性アンジオテンシンⅡ受容体拮抗剤
 指定医薬品 要指示医薬品^注

薬価基準収載

ブロプレス錠^{2.4}_{8.12}
 (一般名：カンデサルタン シレキセチル錠) ^注 注意—医師等の処方せん・指示により使用すること



(0412)

平成 16 年 3 月分収支別紙どおり報告、承認される

3. 各部報告

【庶務部】角田理事

青森の総会出席申し込み者は現在のところ 88 名

【広報部】山崎(康)理事

会誌 178 号は 4 月 26 日頃発行予定

協議事項

1. 第 49 回定時総会の件

- 先月理事会で未定だった評議員会、総会の発言者を決める。会務報告及び事業計画：評議員会＝鹿田副会長 総会＝加藤副会長 平成 16 年度事業計画案：評議員会＝加藤副会長 総会＝石原副会長 閉会の辞：評議員会＝鹿田副会長 総会＝石原副会長 会計監査報告評議員会及び総会とも川田監事

- 報告事項「国際女医会議の件」はナショナルコーディネーター報告で平敷理事が、報告事項「次期及び次々期開催地に関する件」はその後に橋本会長が報告する
- 議題「平成 15 年度の一般会計収支計算(案)」の「計算(案)」は「決算(案)」が正しいのではないかとの意見があった。会計士の長嶋先生に何う

2. 2004 年国際女医会議の件

- 平敷理事より資料に基づき説明があった
- 3 月 31 日に宮内庁関係の会議を京王プラザで行った
- opening ceremony では 12 名（女医会より会長・副会長 4 名、国際女医会より 4 名、小泉総理、坂口厚生労働大臣、石原都知事、日医会長）登壇の予定
- 申し込み 133 演題の内 40 演題が口頭発表、93 演題がポスター展示となる
- Gender Workshop のポスターは古賀理事の（案）を基に ICS と検討する
- Gala party の司会は山本詩恵さんに依頼し、加藤副会長がサポートする事に決定
- 広報部から「JMS・特集号」に 200 万円かかり、企業に広告費として募っているが難しい状況である。今後も協力を得るように努力する。また、映像 (DVD) として保存するか否かを討議し、重要な会合のみ保存する事に決定。どの部分にするか学術部、会計部と検討する
- 病院見学は希望の無かった東京小児療育病院は中止

- 4 月 14 日に橋本会長が東京都産業労働局観光を訪問し、企画課長の中尾根明子氏から「東京都後援名義の使用について」承認され、全面的に広報活動に協力する旨報告があった
- ホームステイは定員ちょうど 8 名の希望があった。
- 澤口理事の作成した「出店に関する契約書」を各業者に送付し、6 月 19 日理事会開催日に本契約をする
- 鹿田副会長より資生堂「美容相談実施」について説明があった
- 森川理事より国際女医会議・収支見積りの説明があり、約 1,000 万円収入が少ない見込み。節約に鋭意努力する

3. その他

・公開講演会の件

北海道支部より「公開講演会に対する助成の申請書」の申し出があったが、今後、他から申請の可能性もあるので 10 万円とする

- 会の途中に国際女医会議 Gala party で同時通訳を依頼した山本詩恵さんの紹介があった

理事会終了後、ICS を交えシミュレーションを行った。各場面ごとの状況に応じ詳細を検討し、不足部分を再確認した。

以上

日時：平成 16 年 6 月 19 日(土)
午後 3 時 00 分

場所：京王プラザホテル

出席者：橋本、石原、加藤、鹿田、内湯、古賀、斎藤、澤口、澁谷、角田、中山、濱田、平敷、松井、村田、森川、山崎(ト)、山崎(康)、山本(續)、山本(詩)、橋川(以上 21 名)

欠席者：大坪、船越、川田、(以上 3 名)

議題

- 第 26 回国際女医会議の件
- 第 49 回定時総会の反省
- その他
 - 職員賞与について

4 月理事会議事録を承認

報告事項

- 庶務報告 古賀理事
別紙どおり報告、承認される。
- 会計報告 濱田理事
平成 16 年 4、5 月分収支別紙どおり報告、承認される。
会計報告について、各部毎の会計明細がほしいとの意見があった。

3. 各部報告

【広報部】鹿田副会長

- 「ゆうゆう糖尿病」が 6 月号で一旦終了するが、弘研印刷にある残部の内 300 冊を買い取りたい旨提案され、検討する。賛成多数で承認。「百周年記念事業基金」より支出。また国際女医会議で販売してはとの意見も出された。

内湯理事より「3 月理事会議事録・その他」の項で「ゆうゆう糖尿病が廃刊」とあるが、「終刊である」との指摘があった。又、バックナンバーの希望も多いため全巻を保管するようにする。

【学術部】山本(續)理事

- 今年度の学術講演会は斎藤理事が小児科に関する講演会を予定している。

協議事項

1. 第 26 回国際女医会議の件

資料に基づき平敷理事が説明

・登録者数

6 月 18 日現在、出席者 448 名(海外 205 名、国内 194 名、学生・co-medical 20 名、同伴者 54 名、登録費免除の過去の会長 5 名)。中国より 30 名、フィリッピンから 20 名の参加があり、最終的には 500 名になる予測

・参加者名簿

広告掲載可能なので広告費で作成する。大坪理事に依頼済み

・宮内庁関係

順調に進行中。皇后陛下にご臨席いただき、50 分間ご歓談される。各プレスへ 7 月 21 日に広報される。女医会関係と国際女医会関係からそれぞれ 15、6 名が近い席でご歓談。宮内庁より 7 月 2 日 14 時から皇宮警察、警視庁、新宿警察、ホテル等立会いの下「事前調査会議」開催の指示

・招待者

日本医師会植松会長、東京都副知事からはご出席の返事をいただく。小泉総理、坂口厚生労働大臣からは回答なし

・基調講演

緒方貞子先生、バイオリン演奏 二村英仁氏には ICS を通じ連絡済み

・scientific committee

40 演題の申し込みがある。1 セッション 10 名ずつ。ファンドは 40 名より選んだ 19 名に授与。座長全員が決定済み。Sub-committee、11 名で 130 近くの演題を日本語訳にしている。7 月初めに会合予定

・会場

鹿田副会長より 6 月 9 日、角田

理事・中原会員（文京支部長）と椿山荘・ガーデンパーティの打合せの報告。250 名出席の予定。往復移動のバスについて迅速で安価な方法を検討。最終は鹿田副会長、森川理事に一任。

屋台の催し物は、アメ細工・ヨーヨーつり、輪投げ、かき氷に決定。

・アトラクション

ホリヒロシ氏の予定は本日、中山東京都支部連合副会長に何う。瀧本恭史氏は来週にも平敷理事、橋川監事が直接打合せの予定

・広報について

JMS に特集号が発行される。一日目 General Assembly 前に記者会見の予定。詳細は今後検討。

・病院見学

エスコートの人選が決定。椿山荘と同様の移動方法を考える。

・ice cracking party

会長立候補 3 名と、南ヨーロッパ副会長立候補者 2 名の演説があるのでマイクを用意。

・石原副会長より各理事の「担当役割一覧表」の作成希望があった。

2. 第 49 回定時総会の反省

・青森支部のご尽力により成功裡に終了

・評議員会で問題提起された「荻野吟子賞」の推薦のない場合、予算案をゼロで計上した事について討議。選考日の変更等意見が出されたが、会計士長嶋先生に相談し、次回あるいは次々回理事会までペンディング。

3. その他

・独立行政法人・福祉医療機構・子育て基金より「働く女性のための育児環境整備支援事業」助成決定の報告。

・職員夏期賞与は 2 か月 + 3 万円支給

理事会終了後、ICS、コニカ、京王プラザホテル、ユート（撮影班）を交えリハーサルを行う。

以上

日時：平成 16 年 7 月 20 日（土）

午後 3 時 00 分

場所：京王プラザホテル

出席者：橋本、石原、加藤、鹿田、内潟、大坪、古賀、澤口、角田、中山、濱田、平敷、松井、村田、森川、山崎（ト）、山崎（康）、山本（續）（以上 18 名）

欠席者：斎藤、澁谷、船越、山本（蒔）、川田、橋川（以上 6 名）

議題

1. 第 26 回国際女医会議の件

2. その他

・ブロック別懇談会について

6 月理事会議事録を承認

報告事項

1. 庶務報告 角田理事

別紙どおり報告、承認される。

2. 会計報告 森川理事

平成 16 年 6 月分収支別紙どおり報告、承認される。

3. 各部報告

【事業部】村田理事

・今年 10 月号からの「いきいき」執筆者を募集。10 月号は斎藤和歌先生（埼玉支部）、11 月号は山本（續）理事に決定。それ以降は随時決める。

【広報部】大坪理事

・「JMS・特集号」及び「女医会誌・特集（7,10 月号合併号）に共通の原稿を依頼中。8 月 20 日締め切り、400 字詰め×6 枚で依頼中。

協議事項

1. 第 26 回国際女医会議の件

資料に基づき平敷理事が説明

・7 月 15 日現在、出席者 510 名（海外 260 名、国内 250 名、同伴者を含む）

ナイジェリアの登録者 70 名に関してはナイジェリアの日本大使館を通じ慎重に対処している。

・参加者名簿は広告が順調にふえ 200 万円以上の申し込みがある。

・新宿警察署より借用する金属探知器は 28 日 8 時 30 分にエミネンス前に設置。

警備員の他、古賀理事・角田理事・中山理事が担当。

・ご来賓

開会式典には森英介厚生労働副大臣、大塚俊郎東京都副知事、植松日本医師会会長がご出席、ご登壇。植松日本医師会会長と坂口厚生労働大臣は opening reception に出席される

・報道関係

報道カメラ等のチェックは大坪理事、山崎（康）理事が担当

・要人のお出迎え、お見送り及び誘導する各担当理事を確認

・招待状を東京都産業労働省局長、東京都産業労働省観光局長、東京都産業労働省観光部企画部長、（助）東京観光財団専務理事、厚生労働省医政局長、厚生労働省医政局医事課（6 名）へ発送

・opening reception

皇后陛下とのご歓談は日本から 20 名、国際女医会から 14 名が予定（名札にわかりやすい印を付ける）。ご歓談は短時間にすませるようにする。報道関係へは 7 月 21 日に発表される。開始から 5

分間だけ撮影が許可される。

・scientific committee

プログラム 600 部は印刷中。名簿も 600 部印刷する。順調に進行中。

・パーティー関係

①朝食は 1 日目少なめ、2・3 日目は多めで用意

② Ice cracking party

27 日宿泊の外国人が 130 名いるので 200 名分を用意

③椿山荘

雨天の場合は会場が変更される。

看板は「MWIA2004 Garden Party」で作成。バス送迎は 5 台で往復。行きは京王プラザホテル都庁側に 5 時に集合、帰りは 8 時半頃から出発し最終は 9 時。それぞれのバスに理事が分乗。簡単な開会の挨拶を Dr.Diekhaus をお願いする。受付は古賀理事、角田理事、中原会員、事務局二人。バス関係は全て森川理事を通じてワタナベモータースへ依頼

④ Gala Party

ホリヒロシ氏は 6 時から 30 分間出演、その後 15 分写真撮影が可能

瀧本氏の演奏は 8 時から。2 人のリハーサル調整も完了

・広報

記者会見は 7 月 28 日 opening reception の後に行われる予定

・病院見学

「国立がんセンター」が中止になり、「ゆうあいクリニック」（横浜市・港北区）に変更。各施設へは会議終了後、改めてお礼に何う。

・プログラム希望者には 1 冊、5 千円で販売

・各理事の責任業務を最終確認

・角田理事より京王プラザホテルの見積りについて説明があり、全員が承認

パーティーのメニューについても検討

・森川理事より ICS との契約について説明があり、最新の見積りについて説明

・28 日総会時の次々期（2007 年～2010 年）国際女医会長選挙について説明

・JTB の逢坂氏より「ナイジェリアからの参加者に関する問題点」についての説明があった。

2. その他

・ブロック別懇談会の件

関西方面（京都・大阪）での開催を希望し、中山理事から川田監事に打診してもらう。

以上

日時:平成 16 年 9 月 18 日(土)
午後 3 時 00 分

場所:日本女医会会議室

出席者:橋本、石原、加藤、鹿田、内潟、大坪、古賀、斎藤、澤口、澁谷、中山、濱田、平敷、松井、村田、森川、山崎(ト)、山崎(康)、山本(蒔)、橋川 (以上 20 名)

欠席者:角田、船越、山本(續)、川田 (以上 4 名)

議題

1. 第 26 回国際女医会議会計・第一報
2. 役員の内
3. 次期ブロック別懇談会の件
4. ナショナルコーディネーターの件
5. 学術講演会の件
6. その他

6 月理事会議事録を承認

報告事項

1. 庶務報告澁谷理事
別紙どおり報告、承認される。
2. 会計報告森川理事
平成 16 年 7・8 月分収支別紙どおり報告、承認される。
3. 各部報告
【渉外部】松井理事
・内閣府男女共同参画室主催「男女共同参画推進連携会議第 17 回全体会」に出席の報告
【広報部】大坪理事
・本日 14 時より広報部会を開催し「日本女医会誌・国際女医会議特集号」の内容を検討

協議事項

1. 第 26 回国際女医会議会計・第一報
・平敷理事が<資料 1>に基づき、会議終了後のお礼の挨拶の説明
・森川理事が<資料 4>に基づき会計収支の報告
現在のところ、410 万円位の赤字になる見込み。ICS に請求額減額の再検討を依頼し、不足分を「特別会計・国際女医会議記念事業基金会計」から捻出する等も視野に入れ、来月理事会まで最終収支を作成し、再検討する。
2. 役員の内
平成 15 年 2 月に宮城支部・小田支部長から提出された「役員任期についての提言」に関して「役員任期の回数、定年制、選出方法」等、各々の意見を次回理事会までにまとめてくる。来年総会で諮る。
3. 次期ブロック別懇談会の件
大阪での開催は支部会のある来年 4 月なら可能。又、京都支部長・石川先生より 3 月第一日曜日に行

う京都支部総会と同時に開催可能との申し出があった。開始時間、近畿ブロックとして広く広報するか等、石川先生にも伺い前向きで検討する。

4. ナショナルコーディネーターの件
国際女医会議長に当選した平敷理事の後任として、橋本会長から推薦のあった内潟理事に決定
5. 学術講演会の件
1 月 15 日(土曜日)理事会後に女子医大・女性生涯健康センター所長・加茂登志子先生に「女性のメンタルヘルス」(仮題)と題し開催予定。
6. その他
・澁谷理事より来年、名古屋での「総会のお知らせ等」を次号会誌に別刷りで同封したいとの希望があり、全員賛成で承認
・「国立女性教育会館・女性研究者のロールモデル集への推薦」は理事より推薦があった方々を含め依頼状を送付した。その後、国立女性教育会館で決定される。
・日本医師会より「日本医師会女性会員懇談会委員の推薦依頼」があり、大坪理事を推薦する事に決定。
・荒木葉子会員より「性差医療情報ネットワーク・東京支部」成立集会への参加協力依頼
・梅田祐子会員(文京支部)より「栄養とアルツハイマーに関する国際シンポジウム」への参加協力
・日本家族計画協会より「健やか親子 21・課題 I」活動協力依頼。又、幹事会の運営資金(一万円)への協力願いは却下
・(株)アプロンワールドより女性医師向けは白衣の生産協力があつた。女医会としては関わらず、興味のある先生に意向を伺い、承諾を得たら(株)アプロンワールドから連絡をする事にする。
・日本医療企画「ばんぼう」編集者より取材協力があり、斎藤理事を通じて適任者を紹介する。
・国際女医会第 8 回西太平洋地域会議は来年 11 月 10 日～12 日マニラで開催
・山崎(ト)理事(事業部)より余分にある国際会議用「コンgresバック」と記念品「手鏡」を販売中、多数の購入協力の依頼
・濱田理事より、札幌で開催された「第 3 回『若者とエイズ』を考えるワークショップ」の報告
・理事会終了後、国際女医会議のビデオを鑑賞する。

以上

日時:平成 16 年 10 月 16 日(土)
午後 3 時 00 分

場所:日本女医会会議室

出席者:橋本、石原、加藤、鹿田、内潟、大坪、古賀、澤口、角田、中山、濱田、船越、松井、村田、森川、山崎(ト)、山崎(康) (以上 17 名)

欠席者:斎藤、澁谷、平敷、山本(續)、山本(蒔)、川田、橋川 (以上 7 名)

議題

1. 第 26 回国際女医会議会計・第二報
2. 役員の内
3. 次期ブロック別懇談会の件
4. その他

9 月理事会議事録を承認

報告事項

1. 庶務報告 古賀理事
別紙どおり報告、承認される。
2. 会計報告 船越理事
平成 16 年 9 月分収支別紙どおり報告、承認される。
3. 各部報告
【事業部】山崎(ト)理事
・現在まで「公開講演会」への申し込みは 4 月の北海道支部の一件のみ
・11 月初旬発行の女医会誌に「荻野吟子賞推薦のお願い」と「地域医療奉仕活動に対する助成のご案内」を同封する。
・国際女医会議のバッジとお土産用の手鏡購買の協力願ひ
・国際女医会議の集合写真は(株)ユートと価格交渉をし、会員に広報・販売し、少しでも収益を得るようにする。
【渉外部】松井理事
10 月 19 日開催の内閣府男女共同参画室主催「アジア太平洋地域経済社会委員会(ESCAP)/北京行動綱領の実施に係るハイレベル政府間会合、スウェーデン家庭生活調査等について聞く会」に出席予定
【広報部】大坪理事
本日 14 時より会誌 179 号の広報部会を開催した。11 月 1 日頃に発行予定。
28 ページ位、カラー写真満載の豪華版となる。

協議事項

1. 第 26 回国際女医会議会計・第二報
・森川理事より最終収支の説明があつた。ICS から 1,640 万円の請求があり、不足分は 4,097,317 円になる見込み。
・誘致に関する助成金(200 万円)はその当時、国際会議の口座がな

かったため、一般会計に組み入れ処理されている。

- ・見積をとりその後、理事会で検討・承認されることなく、個人の采配で行われたことが多く、今後の反省事項とする。赤字分は「国際女医会議記念事業基金」から取り崩す。またある程度の個人負担も可能か討議した。10 月中旬に会計収支を提出しなければならないので、とりあえず請求のあった所へは「国際女医会議記念事業基金」より支払う。
 - ・国際女医会議のビデオ制作（CD：80 枚、ビデオ：20 本合計 165,000 円）を承認
 - ・国際会議中の勤務に対し職員 2 人に「寸志」5 万円ずつ支給する。
2. 役員の内
任期数、選挙方法等を検討する。庶務部を中心に各部から 1 名ずつの小委員会を組織し、来年 5 月の

総会で諮るため素案作りをする。第 1 回目は 11 月理事会の終了後に行う。委員は庶務部、各部より澤口、村田、大坪、内湯、濱田各理事と鹿田副会長。

3. 次期ブロック別懇談会の件

京都支部・石川支部長と話し合いの結果、3 月 6 日に行われる京都支部総会の前、午前 10 時半から 12 時まで開催される。京都支部の懇親会には別途会費 1 万円にて参加可能。近隣の支部にもお誘いを出す。本部からは橋本会長、石原副会長、鹿田副会長、大坪、古賀、澤口、角田、松井、山崎(ト)、山崎(康) 各理事が出席予定。

4. その他

- ・橋本会長より「独立行政法人国立女性教育会館関する要望書」を理事全員の連名で提出したい旨希望があり、全員賛成で許可
- ・加藤副会長より「『10代の性と健

康』指導者養成講座第 9 回」を 1 月 16 日に「女性と仕事の未来館」で「リプロダクティブヘルス/ライツの歴史と展望(案)」をテーマに開催したい旨検討し、承認される。

参加費として 2 千円を徴収。石原副会長、鹿田副会長、森川理事で昼食を提供してくれる製薬会社を捜す。

- ・12 月 18 日の理事会後忘年会を行う。詳細は庶務に一任。

以上

179,180 合併号 p31 の写真説明に誤りがありましたので、以下に訂正し、お詫び申し上げます。(広報部)

上段 2 点の説明にあります、「マックスウェルさん」「マックスウェル次期会長」は、正しくは「キャスパーさん」「キャスパー次期会長」でした。

会員動静 (2004 年 11 月 20 日現在)

入会

広川和加奈 (新卒)	愛知
島野由美 (昭 59 年卒)	北海道
田代理枝子 (昭 39 年卒)	北海道
黒田令子 (昭 59 年卒)	青森
高澤頼子 (昭 40 年卒)	青森
田淵博子 (昭 55 年卒)	青森
渡辺貴和子 (昭 40 年卒)	青森
小笠原真澄 (昭 57 年卒)	秋田
佐々木潔子 (平 2 年卒)	宮城
佐々木明子 (平 7 年卒)	山形
田所浪子 (昭 25 年卒)	群馬
足立喬子 (昭 45 年卒)	埼玉
内野三葉子 (平 10 年卒)	埼玉
吉原遙子 (昭 35 年卒)	埼玉
忍足美代子 (昭 39 年卒)	千葉
赤井留美江 (平 2 年卒)	千葉
千見寺ひろみ (昭 48 年卒)	千葉
大滝隆子 (昭 57 年卒)	神奈川
佐藤公美 (平 2 年卒)	神奈川
池田由里子 (昭 41 年卒)	神奈川

楽原祐子 (平元年卒)	足立
関希和子 (昭 58 年卒)	板橋
忍田和子 (昭 37 年卒)	葛飾
吉田節子 (昭 29 年卒)	練馬
飯嶋睦 (昭 62 年卒)	東女学内
佐瀬クララ (昭 33 年卒)	都下西
杉本千佳子 (昭 59 年卒)	静岡
有吉允子 (昭 38 年卒)	愛知
福井雅子 (昭 60 年卒)	愛知
河野直子 (昭 53 年卒)	長野
渡邊智子 (平 3 年卒)	長野
吉岡茂子 (昭 50 年卒)	新潟
中村万里 (平 8 年卒)	富山
山崎麻美 (昭 53 年卒)	大阪第 2
季沙瑠 (平 13 年卒)	大阪第 3
岡田志緒子 (平 6 年卒)	大阪第 10
斯波真理子 (昭 59 年卒)	大阪第 10
蘆田ひろみ (昭 54 年卒)	京都
石橋杏里 (平 14 年卒)	兵庫
重本典子 (平 15 年卒)	山口
有吉恭子 (昭 58 年卒)	福岡
古賀益子 (昭 52 年卒)	佐賀
田邊響子 (昭 56 年卒)	佐賀

福岡麻美 (平元年卒)	佐賀
牛山佳子 (平元年卒)	佐賀

退会 72 名

物故

松山京子 (昭 5 年卒)	宮城
永岡たけ子 (昭 18 年卒)	福島
小島千恵子 (昭 24 年卒)	栃木
吉武 幸 (昭 22 年卒)	荒川
小林ヤエノ (昭 10 年卒)	大田
新淑子 (昭 11 年卒)	杉並
大内廣子 (昭 14 年卒)	渋谷
良田圭子 (昭 7 年卒)	新宿
小川リツ (昭 16 年卒)	神奈川
塩谷千賀子 (昭 44 年卒)	神奈川
鈴木文子 (昭 11 年卒)	港
中西清子 (昭 4 年卒)	都下東
古屋節子 (昭 17 年卒)	山梨
川原昌子 (昭 23 年卒)	愛知
高波百合子 (昭 17 年卒)	新潟
波田幸子 (昭 15 年卒)	兵庫
松浦俊子 (昭 14 年卒)	香川
吉田春子 (昭 11 年卒)	沖縄

編集後記

新年おめでとうございます。

年頭所感は東京都の各支部長先生が、女医会への熱い期待をよせて書いて下さいました。

特集は定時総会の記事ですが、青森支部の皆様が全力で取り組んで、すばらしい総会にしたことがよく伝わりました。

国連総会に、日本政府代表代理として出席した平敷淳子次期国際女医会会長の報告も力強く、広い視野で世界を見る必要性を考えさせられました。

カンボジアに学校を贈った角田由美子理事もすばらしい活動をしています。

小田泰子先生の著作『医師ヘボンとその時代』については、山本蒔子理事が書評を書かれています。緻密な研究のもとにこの本が完成したことがよくわかり、前回の著作『種痘に見る医の倫理』の時と同様に、多大な感銘を受けました。

常に新しい分野に挑戦し、勉強していくことの重要性を知らされます。広報部員一同、今年も元気に仕事をしてゆきますので、よろしくお願い申し上げます。

「朝未き 雪積む初日 医の勤め はたさんとする娘を送り出す」

大坪公子

日本女医会誌

第 181 号 2005 年 1 月 25 日発行

編集人 大坪公子

発行人 橋本葉子

制作 あづま堂印刷製

発行所 社団法人 日本女医会

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 2-8-7 青山宮野ビル

TEL 03-3498-0571 FAX 03-3498-8769

http://www.jmwa.or.jp

e-mail address:office@jmwa.or.jp